

信州の寺子屋関係研究文献目録（稿）

大橋 敦夫・菱田 隆昭

I. 図書

[長野県全般]

乙竹岩造『日本庶民教育史』下 目黒書店 1929. 9

※「隆盛期庶民教育の地方別調査」一長野県（p.114-138）

市川虎雄『信濃教育史概説』 信濃毎日新聞社出版部 1933. 10

※「江戸時代」一概説（p.81-85），信濃に於ける私塾寺子屋（p.248-268）

村沢武夫『信濃人物誌』 信濃人物誌刊行会 1962. 1

※「寺子屋師匠」一池内国吉（p.21），今井左文（p.50），小沢寿徳（p.93），小沢匡保（p.94），川合殷成（p.116），桑沢義覚（p.151），塚原宥慶（p.282）

土屋弼太郎『近世信濃文化史』 信濃教育会出版部 1962. 12

※「寺子屋」（p.161-177）一信州寺子屋の創設，信州寺子屋の発達と普及，寺子屋師匠の身分，寺子屋の規模，就学状況，教科と教材，寺子屋から小学校，私塾，「幕末における信州の文化地域」（p.312-330）

上沼八郎『信州教育史の研究』 信濃教育会出版部 1964. 3

※「近代教育発達の基盤」（p.11-49），「藩学と庶民教育の性格」（p.50-107）一異学の禁と藩校創設，禁令と各藩の呼応形式，藩校における実学的傾向，藩学と寺子屋，寺子屋普及の実状，寺子屋の性格，寺子屋の廃業，私塾について，村落における寺子屋教育の一例，庶民の教養，信州における心学講舎の開設，信州心学の消長

高野悦子他『信州豆辞典（下）』 NHK松本放送局 1965. 10

※「天神様のまつり」（p.267-268），「筆塚」（p.286-287）

荒井勉『信州の教育』 合同出版 1972. 10

※「農民の土俗性」（p.14-21）

田島清『信州人物誌』 信州人物誌刊行会 1973. 3

※「教育」一池内国吉（p.28），雲上軒田守（p.78），根岸雲巢（p.385）

塚田正朋『長野県の歴史』 県史シリーズ20 山川出版社 1974. 5

※「庶民文化のひろがり」（p.195-206）一農民詩人小林一茶，郷土への目覚め，心学と寺子屋の普及

石川松太郎・直江広治『日本子どもの歴史4・武士の子庶民の子（下）』 第一法規 1977. 8

※「短句・短文の練習」（p.256-257）一善光寺町名控

石川松太郎『藩校と寺子屋』 教育社 1978. 6

※「短句・短文の練習」(p.231-232) 一善光寺町名控

史跡と人物でつづる長野県の歴史編集委員会編『史跡と人物でつづる長野県の歴史』 光文書院 1979. 6

※「心学を広めた中村習輔と藩校・寺子屋の増加」(p.134-138)

鈴木善作編『信濃郷土史』第二巻 歴史図書社 1980. 3

※「私塾及寺子屋は信濃が全国第一位」(p.120-126) 一入学束脩, 教科目, 福島学校, 私塾, 報徳的建碑

信濃毎日新聞社開発局出版部編『長野県百科事典』補訂版 信濃毎日新聞社 1981. 3

※寺子屋 (p.542) (高見沢領一郎), 往来物 (99-100) (高見沢領一郎)

信州大学教育学部歴史研究会編『信州史事典』Ⅰ 松本藩編 名著出版社 1982. 1

※「庶民教育」(p.356-375) 一寺子屋・家塾の開設, 師匠の身分, 教授・教科書, 休業, 筆塚, 中島算学塾・池田学問所, 寺子屋(私塾) 一覧

小林計一郎編『改訂郷土事典長野県』 昌平社 1982.

※「やはり全国一だった寺子屋数, 大流行してハタとやんだ心学, 算額をのこした信州の数学者」(p.128-133)

唐木伸雄『土に生きた村の記録』 銀河書房 1982. 12

※「村の寺小屋教育」(p.269-274)

長野県教育民俗研究会編『おはなし長野県の民俗』上 信濃教育会出版部 1983. 4

※「村の寺子屋」(p.249-251) 一村の筆塚と寺子屋, 寺子屋での生活

青木孝寿・上條宏之『長野県の百年』県民百年史20 山川出版社 1983. 4

※「寺子屋と村の学問所」(p.12-16)

神津良子編『激動の写真ドキュメント・長野県民100年史』3巻 郷土出版社 1984. 6

※「学制発布から現代教育まで」(p.6-17) 一近代教育発生の土壌, 庶民教育を普及した寺子屋(中村一雄)

木藤岡剛『要説信濃通史』 木藤岡剛(私家版) 1985. 1

※「寺子屋(家塾)」(p.239-241)

児玉幸多監修『親と子のための長野県の歴史』 信濃毎日新聞社 1985. 11

※「寺子屋や藩校に学ぶ」(p.160-163)

長坂健二・武藤孝典『長野県の郷土と文化』 八十二文化財団(長野市) 1987. 4

※「信濃教育概観」一明治期・寺子屋の伝統と初等教育の普及 (p.161-162)

長野県歴史大年表刊行会編『長野県歴史大年表』上巻・原始～近世編 郷土出版社 1987. 7

※「寛文11(1671)年」(p.278), 「寛政12(1800)年, 往来もの」(p.342)

牧野昇他監修『全国の伝承江戸時代人づくり風土記・聞き書きによる知恵シリーズ20・ふるさとの人と知恵・長野』 農山漁村文化協会 1988. 2

※「信州心学の開祖・中村習輔と植松自謙」(p.187-194) (湯本豊佐太), 「寺子屋師匠和徳・三代に

わたって庶民教育に尽力」(p.195-201)(小沢和延),「寺島宗伴・鬼無里村の和算師匠」(p.202-208)(赤羽千鶴),「伊那谷の寺子屋・漢皋亭の初等教育など」(p.248-253)(中村一雄),「内山真弓・家塾聚芳園を開き歌論書を著す」(p.254-260)(腰原哲郎)

信州大学教育学部歴史研究会編『おはなし長野県の歴史』 信濃教育会出版部 1989. 4

※「庶民教育の発展」(p.194-196)(西沢安彦)

エディターハウス編『日本縦断シンポジウム地方文化の復権・シリーズ第6回信州・響きあう信州文化の稜線』 住友商事株式会社 1992. 10

※「寺子屋・私塾が最も多かった信濃の国」(p.20)

長野県立歴史館編『長野県立歴史館常設展示目録』 長野県立歴史館 1994. 11

※「文書主義の深まりと民衆」(p.86-87)

長野県立歴史館編『長野県立歴史館展示資料目録』 長野県立歴史館 1995. 11

※「展示資料図版(写真)」(p.17-19)一寺子屋机, 村當寺子屋関係文書, 信濃地名考, 「信州文化と民衆意識」(58-60)一寺子屋机, 寺子屋教具類, 手本類, 書見台, 村當寺子屋関係文書, 信府統記, 信濃地名考

古川貞雄・福島正樹・井原今朝男・青木歳幸・小平千文『長野県の歴史』 山川出版 1997. 3

※「底辺にとどいた文化」一文字社会の深まり, 寺子屋のひろがり(p.236-241)

長野県立歴史館編『信濃の風土と歴史』④近世の歴史 長野県立歴史館 1998. 3

※「教育県の源流」(p.76-77)一なまけるなイロハニホヘト散る桜, 寺子屋の授業と寺子, 村當寺子屋ができた(青木歳幸), 「芸道のひろがり」(p.78)(青木歳幸)

[北信]

佐藤政男『北信濃の歴史』 文献出版 1978. 3

※「寺子屋物語り」(p.254-262)一寺子屋とは, 飯島手習所, 権次郎ごっちゃん

金井喜久一郎・古川貞雄監修『図説・奥信濃の歴史』上巻 郷土出版 1995. 3

※「村の文化人たち一明孝舎心学と晩晴吟社」(p.150-151)(山崎盈), 「奥信濃に残る一茶の足跡一小林一茶と高井の俳人たち」(p.152-153)(中村鉄治)

小林計一郎監修『図説・北信濃の歴史』上巻 郷土出版 1995. 3

※「村祭りと若者組・寺子屋」(p.156-157)(青木歳幸)

湯本豊佐太『子どもに語った北信濃の歴史』 信濃教育会出版部 1996. 4

※「寺子屋研究について思うこと」(p.119-125)一悉皆調査について細部の調査を, 幕末に共立学校設立の芽, 幻の医学校

田川幸生『北信濃の遊歴師匠武田櫻谷』 信毎書籍出版センター 1998. 10

※各地の遍歴, 手習師匠の「彼昌堂櫻谷」, 「吐月庵櫻谷」の俳諧と俳系・傳系, 櫻谷関係の史資料(p.1-181)

【下水内郡・飯山市】

仲條其松『富倉郷土誌』 信濃毎日新聞社 1937. 9

※「教育」—明治初年以前の教育，能書による学者の出現，下水内郡誌に曰く，仲條文兵衛の手習
(p.308-309)

豊田村役場『豊かな明日へ・豊田村合併30周年記念誌』 豊田村役場 1986. 9

※「教育の移り変わり」—学校教育のはじまり (p.22)

【上水内郡・長野市】

加藤倉之助『丹波島宿駅史』 丹波島宿駅史刊行会 1963. 9

※「江戸時代に於ける村の人物」—金沢重左衛門 (p.94)

若林彦一・若林憲男『高田の今昔』 篠ノ井高田長生会 1978. 2

※「寺子屋」(p.51-54)—新屋組における寺子屋師匠，お家流，寺子屋の創業と師匠，教科書，清書，授業時間，師匠の心遣いと生活の一端，村人の心遣い

小林計一郎『わが町の歴史長野』 文一総合出版 1979. 7

※「長野の学問・芸能」(p.158-162)—寺子屋，民間の学問，俳諧

長野市立博物館編『博物館常設展示概説』 長野市立博物館 1981. 9

※「産業と教育の振興」(p.51)—産業の発達，文武学校と寺子屋

虫倉神社史編集委員会編『むしくら風土記・虫倉神社と廣福寺』 虫倉神社社務所 1990. 9

※「近世の若者の教育」(p.89)

石坂尚『松代藩小田切の里の寺子屋教育』 石坂尚(長野市・私家版) 1994. 2

※寺子屋のあった松代藩小田切の里三福寺，三福寺と手習所，寺子屋で使われたお手本，寺子屋で使われたお手本の内容と時代的背景，『初登山手習状』の重要部分解説，『是非短歌』の全文解説，寺子屋教育が学校教育に与えた影響，寺子屋に入って勉強した時期，お手本の移り変わり
(p.1-159)

虫倉山系総合調査研究会編『むしくら—虫倉山系総合調査研究報告—』 虫倉山系総合調査研究会 1994. 3

※「私塾・寺子屋の教育」(p.265-292)—私塾・寺子屋の発生，私塾・寺子屋の普及，師匠の職業と私塾・寺子屋の分布，私塾・寺子屋の経営，寺子屋の教育，私塾・道場の教育，筆塚と主な師匠(中村一雄)

大谷利一『篠ノ井の歴史と暮らし』 龍鳳書房 1994. 12

※「篠ノ井の寺子屋教育」(p.93-96)—寺子屋師匠と山本央人，学制前の主な寺子屋の師匠(篠ノ井関係分)

矢野恒雄『飯綱山に見える村々』 (ほおずき書籍 1998. 12

※「ふるさとの記」—草水・随仏の筆塚と人脈

【下高井郡・中野市】

山田弘『山紫水明の故郷柳久保』 信毎書籍出版センター 1998. 10

※「人物伝」—寺子屋 (p.335)

【上高井郡・須坂市】

須坂市人物誌編集委員会編『須坂市人物誌』 須坂市役所 1966. 1

※「明治初期の教育」(p.97-102) 一寺子屋, 私塾, 藩学, 立成館, 教倫館

須高地域史研究会編『地域近現代史叢書2・須坂上高井の百年』 須坂新聞社 1984. 3

※「藩校と寺子屋」一須坂藩教倫舎の心学, 藩士にきびしい立成館, 村には農民の寺子屋 (p.17-19)

ふるさと須坂, 歴史と文化財編纂委員会編『ふるさと須坂, 歴史と文化財』 須坂市教育委員会 1988. 1

※「産業の発達と大笹街道」一須坂地方の芸能と寺小屋 (p.35)

高井郷土史刊行会編『写真が語る高井の歴史』 高井郷土史刊行会 1994. 1

※「寺子屋のお手本」(口絵), 「文化と宗教」一寺子屋と筆塚 (p.63)

被差別部落の歴史と民俗編纂委員会編『小布施町における被差別部落の歴史と民俗』 小布施町教育委員会 1994. 3

※「教育・武術免許」(p.93-97) 一部落の寺子屋・三本木塾, 身を守るための武術 (金田功子)

【更級郡】

上山田町合併30周年記念事業写真集部会編『写真集上山田の百年』 上山田町役場 1986. 12

※「幕末の教育者」(p.10)

上山田小学校『上山田の風土』 上山田小学校 1987. 10

※「ぜいたくな心をいましめ正そうとした」(p.34-37), 「山伏塚に筆塚としてのこる」(p.38-40)

【埴科郡・更埴市】

郷土学習帳編纂委員会編『郷土学習帳』 埴科郡第三区職員会 1933. 5

※「学校」(p.115-116)

森安彦『信濃国埴科郡下戸倉町名主坂井家文書目録』 坂井銘醸株式会社 (戸倉町) 1995. 3

※「教育」一消息手習文他8点 (p.177)

竹内正一『千本柳の来し方記』 竹内正一 (戸倉町, 私家版) 1995. 11

※「教育と学校の変遷」一学制発布前の教育 (江戸時代から明治初期までの教育) (p.216)

屋代を語る会編『ふるさと再発見屋代百選』 屋代を語る会 1997. 8

※「筆塚」(p.26)

[東信]

【小県郡・上田市】

武舎秀雄『薬師堂と西田沢の歴史』 武舎秀雄 (私家版・東部町) 1979. 11

※「明治3年」(p.57-58) 一庄屋関六左衛門筆塚

尾崎行也・川上元・平野勝重『図説・上田の歴史』 郷土出版社 1980. 9

※「寺子屋」(p.79) 一踏入村出野家, 岩下村佳吉

中山道和田の歴史と伝承刊行委員会編『中山道和田の歴史と伝承』 中山道和田の歴史と伝承
刊行会 1984. 12

※「明治初年に於ける学校の移り変わり」(p.178)

城南公民館二十周年記念誌編集委員会『図説・上田城南地区のあゆみ』 上田市城南公民館
1995. 2

※「村の寺子屋」(p.61)

丸子町誌教材資料作成委員会編『丸子町の歴史・学習指導のための教材資料集』 丸子町教育
委員会 1996. 3

※「村の学校」(p.60-61) 一寺子屋と筆塚, 村の学校

【北佐久郡・小諸市】

望月町教育委員会編『望月の町民の歴史』 望月町教育委員会 1988. 5

※「教育・学芸」

塩川友衛『資料で見る郷の歴史・江戸時代の小諸藩』 塩川友衛(私家版・小諸市) 1997.
4

※「庶民教育～寺子屋」(p.142-144)

飯塚道重『高原の城下町・小諸藩歴史散歩』 櫟株式会社 1998. 4

※「藩学明倫堂と寺子屋」(p.125-129), 「近世の教育文化資料(人物編)一覧表」(p.139-141)

【南佐久郡・佐久市】

市川雄一郎『佐久地方江戸時代の農村生活』 市川雄一郎先生遺稿刊行会 1955. 8

※「佐久入沢の成章舎と友彦」(p.318-330), 昭和12年10月の『信濃教育』に掲載されたものの再録

上原邦一編『天保佐久人物誌一甲・乙・臼田巻一』 上原邦一(私家版・佐久市) 1969. 9

※「書家柳沢直明」(p.52-54), 「僧割田不識」(p.58-59), 「俳人相沢月邦」(p.81-83)

(井出通)

岩井傳重『江戸時代東信濃宿村の歴史一岩井傳重翁米寿記念史談集一』 江戸時代東信濃宿村
の歴史・岩井傳重翁米寿記念史談集刊行会 1975. 3

※「成章舎と心学狂歌」(p.375-383)

井出正義・臼田武正・大井隆男・尾崎行也『図説・佐久の歴史』上巻 郷土出版社 1982. 1

※「心学講一成章舎」(p.138)

城殿輝雄『奥殿陣屋』 城殿輝雄(私家版・岡崎市) 1990. 10

※「奥殿陣屋の教育」(p.19-24)

佐久市郷土資料委員会編『わたしたちの佐久市』 佐久市教育委員会 1993. 4

※「学校のうつりかわり」－江戸時代の寺子屋（p.75）

〔中信〕

【北安曇郡・大町市】

仁科宗一郎『続信濃池田町史話』 柳沢書苑（池田町） 1976. 8

※「池田町手習師匠」（p.269-287）

池田学問所二百年祭実行委員会編『池田学問所小伝』 池田町教育委員会 1988. 10

※（p.1-82）全82－お守りになった石碑，近世初めの池田の教育，池田学問所，学問所の学習，学問所で使った教科書，束脩と謝儀，寿碑の建立，八幡神社の絵馬，小学と巢雲教育，しおり草と巢雲教育，学問所条目，天神講，巢雲の書，学問所の師匠，終わりに

【南安曇郡】

小穴芳実他『図説・安曇の歴史』上巻 郷土出版社（松本） 1985. 1

※「寺子屋」（p.161）－南安曇郡内諸村の寺子屋師匠開業開始年代

宮下一男『アルプスの里「堀金」－その歴史と文化－』 近代文藝社 1986. 7

※「寺子屋の師匠達」（p.171-187）－藤原重矩翁筆塔，田口仁曾右衛門の碑，内田寿光老筆塚，青柳光定筆墳，清沢伝五郎筆塚，佃貢筆塔，猿田源弥先生彰徳碑，崇筆徳，浅野真砂喜女史の碑，上条芳憲筆墳

【東筑摩郡・松本市・塩尻市】

飯沼源次郎『松本平手習師匠』 川越印刷（松本市） 1924. 5

※（序，p.1-255）

東筑摩郡郷土資料編纂会『教育と宗教（二）一家塾・寺小屋調査一』（文化部中間報告・第四十六集） 東筑摩郡郷土資料編纂会（1955）

※「家塾・寺小屋調査」（p.1-62）全62（調査員野口俊勝）

矢口奇鳳『銀嶺』第二巻 松本文化協会 1955. 10

※「寺子屋師匠」－荻上一夫（p.19）

目で見える明科史発行委員会編『目で見える明科史』 目で見える明科史発行委員会 1977. 3

※「思い出の学舎」（p.138-139）－（写真資料）

松本市立博物館編『松本市立博物館総合案内』 松本市立博物館 1986. 3

※「教科書のうつりかわり」（p.77），「寺子屋から学校へ」（p.78-79）

重要文化財旧開智学校管理事務所編『重要文化財旧開智学校展示開設図録』 重要文化財旧開智学校管理事務所 1990. 11

※「教科書編」（p.21）－手習師匠が寺子に書き与えたお手本，実語教童子教，往来物いろいろ

松本市教育会浅井列遺稿集編集委員会編『浅井列』 松本市教育会 1990. 12

※「旧松本藩藩学・私塾・寺子屋取調べ」（p.370-404）－松本藩学校沿革取調べ，東筑摩郡旧松本

藩領並預所内私塾・寺子屋取調べ, 寺小屋取調べ概論, 寺子屋一覧表

松本城物語実行委員会編『城下町松本一町と暮らしと人々と一』 銀河書房(長野市)

1993. 7

※「江戸の教育熱」一庶民教育の場・寺子屋(p.77)

【木曽郡】

上松小学校社会科研究会編『わたしたちの郷土上松町』改訂版 上松町立上松小学校

1966. 3

※「寺小屋」(p.147)

生駒勘七・神村透・小松芳郎『図説・木曽の歴史』 郷土出版社 1982. 2

※「山村蘇門と木曽の漢文学」(p.96-97)

上條宏之『檜川ブックレット3・もうひとつの「夜明け前」—近代化と賛川の国学者たち—』

木曽郡檜川村 1991. 3

※「手習場と学問所の役割」(p.52-61)

木曽教育会編『郷土木曽』歴史編(平成四年度版) 木曽教育会 1992. 3

※「寺子屋」(p.61-62)

〔南信〕

【諏訪郡・諏訪市・岡谷市・茅野市】

諏訪教育会編『諏訪の歴史』 諏訪教育会 1955. 12

※「学芸の進歩」—寺子屋(p.256-257)

諏訪教育会編『諏訪の近世史』 諏訪教育会 1966. 3

※「寺子屋」(p.576-579)—師匠, 筆塚, 「書道」(p.579-580)

今井広亀『諏訪の歴史』 諏訪教育会 1970. 3

※「寺子屋」(p.309-311)—筆塚

宮坂喜十『下諏訪の史話』 宮坂喜十先生遺稿刊行会 1971. 10

※「病床録」—武井塾(p.180-183)

今井広亀『下諏訪の歴史』 下諏訪町立博物館 1977. 12

※「寺小屋」(p.312-314)

山田茂保『諏訪史概説—文化史を中心として—』 岡谷書店 1979. 10

※「諏訪の寺子屋」(p.253-256)—寺子屋の起源と普及, 諏訪の寺子屋

宮坂光昭・浅川清栄『図説・諏訪の歴史』 郷土出版社 1983. 8

※「心学の祖植松自謙と時中舎」「寺子屋」「諏訪の国学」「諏訪の俳諧」(p.162-165)

内藤式『小六新田の歴史・農村宗教史と民俗史』 内藤式(私家版・東京都) 1989. 9

※「分教場の沿革」(p.259-262)—寺小屋から分教場へ

織田虎七・伊藤博夫・原博一編『語り部文六覚書—郷土史研究家田中文六翁口述記述—』 田

中要吉(私家版・茅野市) 1994. 8

※「寺子屋」(p.141)

【上伊那郡・伊那市・駒ヶ根市】

市村咸人『江戸時代に於ける南信濃』 上伊那郡第三部教員会 1934. 6

※「寺小屋」(p.174)

戸草ダム民俗等調査委員会編『奥三峰の歴史と民俗』 長谷村教育委員会 1994. 3

※「寺小屋から伊那里小学校まで」一寺小屋の普及 (p.17)

【下伊那郡・飯田市】

中村七五郎『近世飯田町教育史』 飯田刊行協会 1958. 2

※「維新前の教育」(p.1-28)

下伊那教育会郷土調査部地理委員会編『下伊那の地誌一木曾山脈東麓地域の研究一』 下伊那教育会 1966. 1

※「学校教育以前の教育」(p.159-160) 一般教育の状態, 会地村教育状況

市村咸人『伊那谷の歴史・伊那文庫2』 伊那史学会 1966. 7

※「寺子屋」(p.103)

矢沢昇『古老は語る』 阿智村老人クラブ「古老は語る」編纂室 1968. 10

※「むかしの学校」(p.1-2) 一寺小屋から学校へ (山本慈昭)

竹内利美・長田尚夫・井上正文『南伊那農村誌』 慶友社 1975. 6

※「寺子屋一手習子」(p.51-53)

北村勝雄『高遠城と藩学』 名著出版 1978. 2

※「高遠藩校進徳館・甲学校」一平民ノ子弟教育方法, 家塾寺子屋設置ノ制度 (p.217-218)

市村咸人全集刊行会編『市村咸人全集』 6巻 下伊那教育会 1980. 3

※「寺子屋」(p.406) 一通史, 伊那史編 (市村咸人)

市村咸人全集刊行会編『市村咸人全集』 7巻 下伊那教育会 1980. 5

※「寺小屋」(p.416) 一通史, 江戸時代に於ける南信濃 (市村咸人)

市村咸人全集刊行会編『市村咸人全集』 8巻 下伊那教育会 1980. 12

※「維新前の教育」(p.96-97) 一土龍集, 山本村志略, 教育 (市村咸人)

太田文硯著・正木敬二訳『評釈各々御用慎』 正木敬二 (私家版・名古屋市) 1981. 12

※「寺子屋」(p.79-81) 一飯田の寺子屋

下伊那地域史研究会編『下伊那の百年』 長野県地域現代史叢書1 信毎書籍出版センター 1982. 10

※「飯田藩校と寺子屋」(p.12-14) 一読み書き算盤, 座光寺村の北原氏寺子屋, 教科目 (上条耿之介)

伊那市有線放送農業協同組合監修『知っておきたいふるさと伊那』 ほおずき書房 (長野市) 1986. 10

※「筆塚について」(p.99-102) (菅沼茂)

石川正臣編『図説・飯田・下伊那の歴史』上巻 郷土出版社（松本） 1995. 3

※「寺子屋の隆盛と私塾—増加した庶民の学びの場」（p.134-135）（伊坪達郎）

原隆夫『郷土誌巡礼・探史の足あと』 阿智史学会 2001. 1

※「萩原露考の筆塚・露考墓」,「熊谷傳兵衛筆塚・一元榮」（p.1）

Ⅱ. 市町村誌

〔長野県全般〕

『長野県史』近世史料編・第一巻（二）東信地方 長野県史刊行会 1972. 3

※「上田領文化」—921文政元年正月武石村寺子屋門人名前帳（p.721-724）, 936明治十六年上田寺子屋海風堂取調表（p.747-748）, 938明治十九年九月小県郡私塾・寺子屋取調表（p.750-760）, 「矢沢知行所文化」—991文政八年名附改名并手習子覚帳（p.830-832）

『長野県史』近世史料編・第五巻（三）中信地方 長野県史刊行会 1974. 9

※「松本領文化」—1335元禄元年二月筑摩郡浅間村与五兵衛子供学問始祝儀控（p.548）, 1358嘉永七年正月筑摩郡浅間村二木道忠手習制詞壁書（p.585-586）, 1359安政二年七月安曇郡大野田村大野松之丞寺子謝礼受納帳（p.587）, 1360文久三年正月安曇郡大野田村大野松之丞寺子手本順人別控帳（p.587-596）, 1362明治十六年七月旧松本藩并松本御預所寺子屋調（p.596-598）, 1364明治十九年五月南安曇郡家塾・寺子屋取調帳（p.622-626）, 1365明治十九年六月北安曇郡家塾・寺子屋取調帳（p.627-630）, 1366明治十九年六月東筑摩郡家塾・寺子屋取調帳（p.631-638）

『長野県史』近世史料編・第三巻 南信地方 長野県史刊行会 1975. 2

※「高島領文化」—617文政六年二月笹原新田寺子屋師匠雇入願（p.1019）, 618文政六年四月寺子屋師匠身元引請証文（p.1019）, 634明治十六年諏訪郡私塾・寺子屋取調表（p.1032-1042）

『長野県史』近世史料編・第四巻（一） 南信地方 長野県史刊行会 1977. 1

※「幕府領文化」—1079自文化五年至安政五年松島村中坪寓八手習・算術門人録（p.1264-1270）

『長野県史』近世史料編・第二巻（二） 東信地方 長野県史刊行会 1979. 2

※「小諸領文化」—703明治十八年北佐久郡家塾・寺子屋取調帳（p.346-349）, 「幕府領文化」—1155寛政四年四月上村弥兵衛寺子教訓書（p.997-998）

『長野県史』近世史料編・第六巻 中信地方 長野県史刊行会 1979. 12

※「尾張領文化」—509明治十六年西筑摩郡家塾・寺子屋取調表（p.768-771）, 510明治十六年福島村寺子屋好古堂取調表（p.772-773）, 511明治十六年福島村大脇自笑私塾取調表（p.773-774）

『長野県史』近世史料編・第七巻（三） 北信地方 長野県史刊行会 1982. 3

※「松代領文化」—1860自文政四年十月至安政五年二月更級郡網掛村高井司馬門人帳（376-377）, 1988文化十年九月更級郡岡田村寺沢嘉十郎門弟初登山手習賀儀帳（p.575-576）, 「塩崎知行所文

化」—2003宝暦二年正月更級郡塩崎村宮崎勝弥門弟登山はなむけ留帳（p.625），2008文化元年七月更級郡塩崎村筆塚建立御入用書上帳（p.629-631）

『長野県史』近世史料編・第四巻（三） 南信地方 長野県史刊行会 1983. 3

※「飯田藩文化」—1937自嘉永四年七月至文久三年三月南条村浜島伝造手習子留帳（p.435-440），
1947明治十六年下伊那郡家塾・寺子屋取調表（p.461-463）

『長野県史』通史編・六巻 近世3 長野県史刊行会 1989. 3

※「寺子屋の教育」（p.623-637, 654-657）—寺子屋・私塾の普及，私塾・寺子屋の師匠，教諭所・
共立学問所としての寺子屋，寺子の学習課程と往来物，新知識の名主就任

〔北信〕

【下水内郡】

『下水内郡誌』 下水内郡教育会 1913. 6（明治文献から1974. 1に復刻版が刊行）

※「教育沿革」（p.149-152）

『遺補下水内郡誌』 下水内郡教育会 1915. 11

※「下水内人物誌」—一跣足上人（p.1），子守御師匠（p.1-2），木百年（p.5-6），吐月庵櫻谷
（p.6-7），市村清心（p.36-37），栗原英春（p.47），平井三斧（p.47-49）

【豊田村】

『永田村郷土誌』 永田村郷土誌後援会 1939. 12

※「明治初年の寺小屋」（p.305-308）—維新前の状況，教授の状態

『豊田村誌』 豊田村誌刊行会 1963. 8

※「明治維新前の教育」（p.829-834）—総説，本村における寺小屋教育，寺小屋の学科及教科書，
授業日数と休日，授業料

【栄村】

『栄村沿革史』 栄村沿革史編纂委員会 1933. 5

※「教育」—寺子屋時代（p.136）

『栄村史』水内編 栄村役場 1960. 7

※「明治以前の教育」（p.275）

【飯山市】

『瑞穂村誌』 瑞穂村役場 1938. 12

※「維新前の教育」（p.375-376）

『太田村史』 太田村史刊行会 1954. 6

※「明治維新前の教育」（p.611-617）

『飯山町誌』 飯山市公民館 1955. 11（1976年に文献出版より復刻版が刊行）

- ※「飯山手習所」(p.515-518) 一飯山権左衛門筆塚,
『岡山村史』 飯山市公民館岡山枝館 1961. 3
- ※「明治維新前の教育」一其教育の方針, 教育の方法
『外様村史』 飯山市公民館外様支館 1957. 11
- ※「明治維新前の教育」(p.713-718), 「人物誌」一栗岩英春、平井三斤 (p.769-775)
『秋津村誌』 飯山市公民館秋津分館 1966. 1
- ※「明治維新教育の教育」一授業日数と休日, 授業料
『村史ときわ』 常盤村史刊行委員会 1968. 8
- ※「教育の普及」(p.961-970) 一藩学と寺小屋, 幕末明治の下水内郡の寺小屋, 小沼平の記, 筆塚
『飯山史』 飯山市立飯山図書館 1969. 3 (飯島貴編集, 飯山町役場発行で1913年11月に
刊行されたものの再販)
- ※「農工商・教育」(p.95-96)
『柳原村誌』 柳原村誌編纂委員会 1970. 4
- ※「明治維新前の教育」(p.823-829) 一宮本喜兵衛の墓, 往来物
『新編瑞穂村誌』 新編瑞穂村誌刊行会 1980. 6
- ※「村の教育」(p.521-532) 一寺子屋の普及, 寺子屋のおこり, 瑞穂の寺子屋, 寺子屋の教育内
容, 瑞穂の師匠たち
- 『飯山市誌』 歴史編上 飯山市誌編纂委員会 1993. 3
- ※「寺子屋・私塾と藩校, 学芸と地方文人」(p.743-750) 一寺子屋のおこり, 寺子屋の教育, 筆
塚, 飯山市内寺子屋私塾師匠一覧表, 庶民文化, 謡塚, 日々の楽しみ, 飯山の文化人, 「文字社会
のくらし」(p.755-769) 一経済活動と文字, ささまざまな記録, 文字の活用
- 【上水内郡】
- 『長野県上水内郡誌』 歴史篇 上水内郡誌編集会 1976. 3
- ※「寺子屋」(p.1100-1163) 一上水内郡師匠一覧, 寺子屋調査, 寺子屋の普及, 師匠の職業と束
脩・謝儀, 寺子門弟, 寺子屋の学科と往来物, 寺子屋の廃止と小学校への発展
- 『上水内郡誌』 現代編 上水内郡誌編集会 1979. 8
- ※「維新时期における水内郡の教育の変動」(p.975-976) 一藩学の廃止, 私塾・寺子屋の廃止(中村
一雄)
- 【信州新町】
- 『信州新町史』 下巻 信州新町 1979. 3
- ※「寺子屋」(p.867-903) 一寺子屋師匠, 寺子屋の開設, 門弟数, 筆塚, 寺子の謝礼, 手習学科
- 【豊野町】
- 『豊野町の歴史(豊野町誌2)』 豊野町誌刊行委員会 2000. 3

※「村の学芸と娯楽」(p.431-442) 一寺子屋の普及, 寺子の入門と学習, 和算の伝統, 俳諧のひろがり, いけ花と謡曲, 豊野町域の諸学芸師匠たち(金井清敏)

【信濃町】

『信濃町誌』 信濃町 1968. 12

※「寺子屋」(p.729-800) 一寺子屋師匠, 筆塚

【牟礼村】

『高岡村のあゆみ』 高岡村村誌編纂委員会 1957. 12

※「教育の変遷」一教育黎明時代(p.91-95)

『牟礼村誌』(上) 自然・原始・古代・中世・近世 牟礼村 1997. 10

※「俳諧, 謡曲」(p.610-652)

【三水村】

『三水村誌』 三水村役場 1980. 3

※「学校教育」(p.737-763) 一学制頒布以前の教育, 寺子屋, 「寺子屋筆塚」(p.1305-1306) 一筆塚

【戸隠村】

『戸隠村誌』 戸隠村誌刊行会 1962. 11

※「教育の変遷」一寺子屋教育(p.72-73)

『柵村誌』 柵村誌刊行委員会 1967. 4

※「寺小屋教育」(p.396-405) 一寺子屋調査表, 筆塚

【鬼無里村】

『鬼無里村史』 鬼無里村 1967. 4

※「明治以前の教育」(p.480-489) 一学校の創設, 寺子屋, 筆塚

【小川村】

『小川村成就部落誌』 小川村成就部落誌編集委員会 1968.

※「松代藩時代の教育」(p.125)

『小川村誌』 小川村役場 1975. 10

※「藩政時代の教育」一寺島塾と小川村, 寺子屋, 寺子屋の教科と手本(p.1112-1120)

【中条村】

『中条村誌』 中条村役場 1980. 2

※「学制以前の教育」(p.959-981) 一概観, 信州心学の祖中村習輔, 都講北沢弥長治, 心学の教育方法と衰退, 寺子屋の教育, 中条村の寺子屋師匠, 筆塚

【長野市】

『長野市史』 長野市役所 1925. 6

※「筆塚, 手習師匠」(付録p.32)

『松代町史』 下巻 松代町役場 1929. 5

※「私塾」(p.13-19) 一私塾師匠表, 「人物」(p.608-612) 蘭薫亭薫

『朝陽村誌』 篠原太一 1958. 3

※「著名の人」—筆塚になった人 (p.219-221)

『柳原村誌』 柳原村誌編纂委員会 1955. 2

※「教育の黎明時代」(p.64-66)—寺子屋師匠,「人物誌」(p.123-131)—深沢喜會八,水野久兵衛,佐藤友治

『古里村誌』 古里村誌編纂委員会 1955. 6

※「学校教育」(p.79)—学校教育の変遷,「著名の人」(p.159-163)—和算家田原三代,寺子屋師匠

『大豆島誌』 大豆島村誌編纂委員会 1956. 5

※「学校教育」—寺子屋と師匠 (p.52-53)

『概説塩崎村史(信州郷土史第一篇)』 信州郷土史研究会 1962. 12

※「教育」(p.132-151)

『小田切村誌』 小田切村誌刊行委員会 1965. 8

※「寺小屋と筆塚」(p.48-50)

『概説信更村史』 信州郷土史研究会 1968. 1

※「教育」(p.229-250)

『七二会村史』 七二会村史編さん委員会 1971. 4

※「文化」(p.477-484)—目録相伝,筆塚

『塩崎村史』 塩崎村史刊行会 1971. 10

※「塩崎村近世の学芸,塩崎村近世の教育」(p.203-216)—あらまし,村の学芸師匠一覧,筆塚の探求,寺子屋師匠の群像,近世教育の発展,手習子生活と天神社(柴田幸夫)

『塚本誌』 北島政雄(私家版・長野市) 1973. 2

※「寺子屋」(p.50-51),「筆塚」(p.100-102)

『長沼村史』 長沼村史刊行会 1975. 3

※「寺小屋師匠」(p.315-319)—寺小屋について

『古牧誌』 古牧誌刊行会 1981. 12

※「明治維新前に於ける本村の教育」(p.446-451)—寺子屋・私塾,寺子屋教育の状況,手習・素読・算盤,「人物」(p.727-728)—長田敬斉

『北長池誌』 長野市北長池公民館 1982. 3

※「寺子屋」(p.140-142)

『区誌よしむら』 長野市吉区 1982. 3

※「吉むらにおける寺子屋教育」(p.95-96)

『とよさか誌』 とよさか誌編纂実行委員会 1982. 9

※「学制発布以前の教育」—江戸時代の教育,寺小屋私塾 (p.531-533)

『西長野百年誌』 西長野町百周年記念事業実行委員会 1982. 10

※「寺子屋」(p.227),「筆塚」(p.288)

『若槻史』 若槻史刊行会 1982. 12

※「学制以前の寺子屋の教育」(p.601-606) —はじめに, 若槻における寺子屋と師匠, 寺子屋における教育, 山里村名

『輪中の村牛島区誌』 牛島区誌刊行会 1985. 8

※「寺子屋のおこり」(p.331-332)

『久保寺今昔』 久保寺史刊行会 1987. 7

※「寺子屋と算額」(p.66-70)

『長門町百周年記念誌』 長門町百周年記念誌編集委員会 1991. 11

※「寺子屋」(p.241-243)

『ふるさと北尾張部』 北尾張部区 1992. 12

※「江戸時代の寺子屋と石門心学」(p.167-168)

『上条区誌』 上条区誌刊行会 1994. 9

※「庶民・子弟の教育」(p.222-228) —江戸時代の子弟の教育(上條地域に保存されている古記録から, 五人組から役元への一札, 上條地域に現存する書物などから), 家塾や寺子屋での教育(設備, 入学および謝儀, 授業, 教科書および教材, 家庭での親・兄弟, 近隣先輩・友人から)

『安茂里史』 安茂里史刊行会 1995. 11

※「学問」(p.216-218) —寺子屋と筆塚, 和算と算額, その他の学問

『わがまち芝澤のあゆみ』 長野市篠ノ井芝沢区 1996. 3

※「寺子屋の師匠」(p.92-93)

『南堀区誌』 長野市南堀区 1997. 6

※「寺小屋」(p.189-190) —筆塚, 往来物

『長野市誌』 第八巻・旧市町村史編・旧上水内郡旧高井郡 長野市 1997. 10

※「長野市」 —寺子屋と師匠 (p.155-156), 「芹田」 —寺子屋と師匠 (p.216-217), 「古牧」 —寺子屋と師匠 (p.258-259), 「三輪」 —寺子屋と師匠 (p.302-303), 「吉田」 —寺子屋と師匠 (p.345-346), 「古里」 —寺子屋の普及 (p.390), 「柳原」 —寺子屋と師匠 (p.429), 「浅川」 —寺子屋と師匠, 俳諧 (p.479-480), 「大豆島」 —寺子屋と師匠 (p.523-524), 「朝陽」 —筆塚と寺子屋 (p.567), 「若槻」 —寺子屋と師匠 (p.609-610), 「長沼」 —寺子屋と師匠 (p.651), 「安茂里」 —寺子屋と学校 (p.699-700), 「小田切」 —寺子屋と師匠, 文化活動 (p.739-741), 「芋井」 —寺子屋と師匠 (p.786-787), 「七二会」 —寺子屋と学校 (p.826-827), 「綿内」 —寺子屋教育 (870-871), 「川田」 —寺子屋 (p.913-914), 「保科」 —寺子屋師匠 (p.956-957)

『長野市誌』 第十三巻・資料編近世 長野市 1997. 10

※「嘉永二年二月埴科郡岩野村上原市郎太手習子人別帳」(p.902), 「慶応三年正月水内郡箱清水村内田幾太郎筆村尽くし・国尽くし手習手本(善光寺)」(p.937-939)

『田野口区史』 田野口区史刊行会 1998. 3

※「文学碑・頌徳碑・筆塚」一筆塚 (p.305) (唐木伸雄)

『御幣川区誌』 御幣川区誌刊行委員会 1998. 3

※「村の産業と文化」(p.50-51) 一寺小屋宝昌寺, 「教育」(p.69-71) 一寺子屋師匠, 筆塚, 「郷土の文化人, 郷土の文化財」(p.173-178) 一宝昌寺

『心のふるさと上氷鉋誌』 上氷鉋誌刊行委員会 1999. 3

※「寺子屋と師匠」(p.172-178) 一上氷鉋地区の寺子屋師匠, 寺子屋の教授と経営, その他諸芸の師匠, 和算, 上氷鉋村文書 (東福寺蔵)

『伺去誌』 伺去歴史研究委員会 1999. 12

※「村の人々と教育」(p.90-91) 一寺子屋以前の教育, 寺子屋による教育, 「筆塚」(p.259-262) 一筆塚の分布図

『長野市誌』 第九巻・旧市町村史編・旧更級郡旧埴科郡 長野市 2001. 2

※「篠ノ井」一寺子屋と師匠 (p.36), 「塩崎」一寺子屋と師匠 (p.78), 「共和」一寺子屋と師匠 (p.119), 「川柳」一寺子屋と師匠 (p.161-162), 「東福寺」一寺子屋と師匠 (p.204-205), 「西寺尾」一寺子屋 (p.245), 「信里」一寺子屋と師匠 (p.290), 「清野」一寺子屋と師匠 (p.寺子屋と師匠), 「東条」一寺子屋師匠 (p.426-427), 「豊栄」一寺子屋と師匠 (p.464-465), 「寺尾」一寺子屋と師匠 (p.512), 「西条」一寺子屋と師匠 (p.550), 「中津」一寺子屋と師匠 (p.589-590), 「御厨」一寺子屋師匠 (p.635-636), 「川中島」一寺子屋と文化 (p.679-681), 「青木島」一寺子屋と師匠 (p.717-718), 「小島田」一寺子屋師匠と教育者 (p.756-757), 「稲里」一寺子屋と師匠 (p.800-801), 「真島」一寺子屋と師匠, 文化人 (p.840-843), 「信田」一寺子屋と師匠 (p.880-881), 「更府」一寺子屋と師匠 (p.925-926)

【下高井郡】

『長野県下高井郡誌』 下高井郡役所 1922. 11 (1999. 7に千秋社から復刻版が刊行)

※「寺子屋の概説」(p.474-478), 「私塾寺子屋一覧表」(p.476-478)

【山ノ内町】

『山ノ内町誌』 山ノ内町 1973. 3

※「学制以前の教育」(p.1243-1249) 寺小屋教育, 明治維新前後の師匠, 寺小屋教育の実況 (就学状況, 教材と教科, 教授法, 休業日, 束脩及び謝礼, 寺子屋私塾の特色)

『佐野の歴史』 佐野の歴史編集委員会 1979. 9

※「寺小屋の教育」(p.650-656) 一設備, 入学及謝儀, 授業, 教科書及教材, 教授法, 寺小屋の師匠, 「教科書からみた当時の教育」(p.664-665) 一郷先生たち

『湯田中のあゆみ』 湯田中のあゆみ刊行会 1994. 3

※「寺子屋教育」(p.829-842) 一地域の寺子屋, 寺子屋, 寺子の束脩と謝儀, 寺子屋での稽古一教科とその教え方, 教室, いろは歌, 賞罰, 師匠の謝恩碑

『宇木区史』 宇木区史刊行委員会 1996. 12

※「寺子屋・塾の教育」(p.468-472) 一寺子屋(宇木の寺子屋, 寺子屋の教育)

【木島平村】

『木島村誌』 木島村誌発刊委員会 1972. 10

※「明治維新前の教育」一概説, 木島村に於ける主な寺習師匠

『木島平村誌』 木島平村誌刊行会 1980. 9

※「寺子屋の普及」(p.688-695) 一求められる教養, 寺子屋の師匠, 教える内容

【中野市】

『増補中野町誌』 大日本法令印刷株式会社 1945. 8

※「明治初年迄の教育」(p.116-117)

『中野市誌』 歴史編(前編) 中野市 1981. 3

※「寺子屋」(p.790-804) 一寺子屋の普及, おしえの内容, 寺子屋の規則

『若宮区史』 若宮区史刊行委員会 1993. 2

※「憲徳学校」(p.297)

『田上区史』 田上区史編纂刊行委員会 1993. 12

※「学問と文化」一寺子屋(p.355-357)

『草間区史』 草間区史刊行委員会 1999. 12

※「寺子屋教育」(p.205-207)

【上高井郡】

『上高井郡誌』 上高井郡教育会 1914. 4 (1974. 1 に併明治文献から復刻版が刊行)

※「学制頒布前の教育」(p.396-416) 一教科書, 教授法, 訓育法, 寺小屋師匠

『上高井誌』 歴史編 上高井教育会 1962. 12

※「教育」(p.854-859) 一私塾, 寺子屋, その他

【小布施町】

『雁田誌』 雁田区 1952. 4

※「教育」(p.81-82)

『都住村誌』 都住村誌編集委員会 1958. 9

※「教育」一寺子屋式私塾教育時代(p.26)

『小布施町史』 小布施町史刊行会 1975. 11

※「庶民文化」(p.553-560) 一寺子屋の分布, 授業の内容, 筆子帳, 若者組

【須坂市】

『日野村志』 永戸朋納(須坂市) 1959. 9

※「学制発布以前の教育」(p.82-83) 一寺小屋一覧表

『高甫村誌』 高甫村誌編集委員会 1960. 1

※「明治初期までの教育」(p.151)

『井上村誌』 井上村誌編集委員会 1961. 6

※「江戸時代の教育」(p.151-153) 一本村の寺子屋教育, 寺子屋開業年代とその数, 寺子屋の閉業

年代とその数, 師匠の身分関係の割合, 「筆塚」(p.192-197) 一井上村寺子屋

『豊丘村誌』 豊丘村誌編纂会 1963. 8

※「寺小屋と筆塚」(p.211-213)

『仁礼誌』 仁礼会 1973. 11

※「読み書きは寺小屋で」(p.180-184)

『須坂市史』 須坂市 1976. 3

※「寺子屋と私塾」(p.493-501) 一明治十七年の調査, 寺子屋の教授訓育, 寺子屋一覧表

『下八町史』 下八町史編集委員会 1977. 5

※「教育」一徳川幕府以来の教育 (p.278-279)

『積石塚の郷上八町区史』 上八町区誌編纂委員会 1992. 11

※「教育・文化」一寺子屋 (p.429-430), 「神社・寺院・石像物」一石像物(筆塚) (p.537-539)

『野辺町区誌・櫛原荘から一千年』 野辺町区誌編纂委員会 1998. 12

※「子どもたちの学舎一小学校・中学校の変遷」一寺子屋 (p.642-645)

【更級郡】

『更科郡誌』 更級郡役所 1914. 3 (1973. 8に名著出版社から復刻版が刊行)

※「維新以前の教育」(p.157-187), 「人物誌」(p.40-51)

【上山田町】

『上山田町史』 上山田町役場 1963. 3

※「学芸」一維新前の教育・寺子屋 (p.532-533)

【大岡村】

『ひじり・大岡郷村誌』 丸山彪(私家版) 1976. 8

※「寺子屋」(p.204-206)

『大岡村誌』 歴史編 大岡村誌刊行会 1998. 3

※「村の文化と寺子屋」(p.332-341)

【埴科郡】

『埴科郡誌』 埴科郡役所 1910. 3 (1934年10月に再版発行, 1973年12月に明治文献から復刻版が刊行)

※「維新前の教育」(p.一ノ236-249) 一師匠一覧, 「人物誌」(p.二ノ81-86) 一蘭薫亭薫

【坂城町】

『坂城町誌』 中巻歴史編(一) 坂城町誌刊行会 1981. 4

※「文化」(p.805-831) 一庶民教育, 坂本の寺子屋師匠, 南条中之条の寺子屋師匠, 村上の寺子屋師匠, 俳諧

『坂城町誌』 下巻歴史編(二) 坂城町誌刊行会 1981. 10

※「寺子屋から学校へ」(p.65-72) 一私塾・寺子屋一覧表

【戸倉町】

『戸倉町誌』第二巻・歴史編上 戸倉町誌刊行会 1999. 3

※「心学と寺子屋」一寺子屋(p.850-861)一心学(幕府代官や松代藩の庶民教化策, 信州心学の祖
中村習輔), 寺子屋(広がる寺子屋, 戸倉の寺子屋, 寺子と師匠)

【更埴市】

『雨宮県村誌』 雨宮県村誌刊行会 1959. 12

※「寺子屋と私塾」(p.217-220)

『桑原村誌』 桑原村誌編纂委員会 1967. 7

※「寺子屋教育」(p.469-473) 一概説, 寺子屋師匠, 私塾

『稻荷山四百年の歩み』 稻荷山四百年の歩み編纂出版委員会 1974. 4

※「読み書きそろばん女庭訓」(p.211-213)

『ふなやま』 区誌ふなやま編纂委員会 1978. 9

※「寺小屋, 相求館夜学所並びに当初の小学校教育」(p.102-104)

『更級埴科地方誌』第三巻・近世編下 更級埴科地方誌刊行会 1981. 2

※「心学, 和算」(p.516-533), 「私塾, 寺子屋」(p.544-556) 一更埴地方の主な私塾, 更埴地方に
おける寺子屋師匠とその身分, 学制前の主な寺子屋の師匠

『杭瀬下村誌』 杭瀬下村誌刊行会 1986. 3

※「教育」(p.297-304) 一近世における教育機関, 杭瀬下・新田村の寺子屋・私塾

『更埴市史』第二巻近世編 更埴市 1988. 3

※「近世教育概観」(p.1-4), 「学問の庶民化」(p.693-714) 一藩や代官所の教化政策, 心学者の
教化活動, 寺子屋教育の普及, 寺子屋の創設, 寺子の入門, 手習本と往来物, 寺子の生活と行
事, 更埴市域の家塾寺子屋

[東信]

【小県郡】

『小県郡史』 小県時報局 1922. 10 (1973. 8に嵯明治文献から復刻版が刊行)

※「教育」(p.763-764)

『小県郡史』余編 小県時報局 1923. 3 (1973. 8に嵯明治文献から復刻版が刊行)

※「私塾・寺子屋師匠, 一覧表」(p.841-869)

【丸子町】

『丸子町誌』歴史編(下)近代・現代 丸子町 1992. 3

※「寺子屋教育の普及」(p.76-79) 一寺子屋と私塾, 寺子屋の教科, 丸子地区の寺子屋分布, 「筆塚
と碑文」(p.94-101) 一筆塚の形と文字, 各筆塚の鑑賞, 筆塚の由来

【長門町】

『長門町誌』 長門町教育委員会 1961. 9

※「教育」(p.197-199)

『四泊史』 内田貢(私家版) 1980. 11

※「四泊の文化人」—内田新作(p.37)

『有坂史・孫達への墓標』 斎藤哲次郎(私家版・長門町) 1985. 8

※「寺小屋について」(p.578-584)

『新編長門町誌』 長門町誌刊行会 1989. 10

※「寺子屋」(p.459-462)—寺子屋教育, 寺子屋師匠

【東部町】

『和村誌』 歴史編 和村誌編集委員会 1959. 3

※「教育と人物」(p.242-248)—私塾・寺子屋, 人物

『東部町20年誌・伸びゆく郷土』 東部町 1979. 9

※「教育と文化」—学校教育(p.98)

『東部町誌』 社会編 東部町誌刊行会 1989. 3

※「新しい村の成立」—庶民の教育(p.125-130)

『東部町誌』 歴史編下 東部町誌刊行会 1990. 3

※「寺子屋と庶民教育, 初めての教育者」(p.629-637)—師匠一覧表, 筆塚, 川合殷成

【真田町】

『真田町誌』 歴史編・下 真田町誌刊行会 1999. 3

※「寺子屋」(p.476-481)—寺子屋, 寺子の入門, 手習い稽古

『長村誌』 真田村長財産区 1967. 7

※「寺小屋などの子弟教育機関」(p.350-352)

【武石村】

『武石村百年の歩み』 明治元年～昭和43年 武石村 1971. 8

※「明治5年, 明治6年」(p.48-49)—池内国吉塾, 私塾一覧表

『武石村誌』 2編村の歴史 武石村誌刊行会 1989. 12

※「寺子屋」(p.467-469)—武石寺子屋表, 池内国吉塾, 堀家蔵書目録(尾崎行也)

【青木村】

『青木村誌』 歴史編・上 青木村誌刊行会 1994.

※「寺子屋の教育」(p.433-437)—私塾・寺子屋, 各地に残る天神様, 寺子の入門, 寺子屋での学習, 定書

『中村誌』 中村誌刊行委員会 1997. 2

※「教育」—中村の家塾

【上田市】

『上田近代史』 上田市 1970. 2

※「好学の風」(p.446)

『上田市史』 下 信濃毎日新聞社 1974. 10 (1974年に復刻版が刊行)

- ※「寺小屋即ち平和教育」(p.329-334) 一寺小屋, 上田町寺小屋一覧, 私塾, 手習師匠, 束脩・謝儀, 教授法, 寺下村寺小屋, 小牧村の寺小屋, 御所村の寺小屋, 中之條村の寺小屋, 諏訪形村の寺小屋
- 『上田小県誌』二巻 小県上田教育会 1960. 11
- ※「学術」(p.783-786) 一数学, 国漢学・諸学, 書道
- 『泉田村誌』 泉田村誌刊行会 1963. 3
- ※「寺子屋」(p.163)
- 『上田小県誌』三巻 小県上田教育会 1968. 11
- ※「教育と文化」(p.973-974) 一学校教育の基盤
- 『神科村誌』 神科村誌刊行会 1968. 11
- ※「寺小屋」(p.257)
- 『川西村のあゆみ』明治元年～昭和48年 川西村 1973. 3
- ※「明治初年にあった寺小屋」(p.85)
- 『神川村略誌』 神川郷土研究会 1973. 12
- ※「筆塚」(p.110-111)
- 『神科新屋誌』 新屋区誌刊行会 1977. 4
- ※「寺小屋時代」(p.32) 一武井翁の筆塚
- 『五加の歴史』 五加自治会 1982. 3
- ※「石造物」(p.108), 「甲田清右衛門歌碑」(p.111)
- 『畑山区史』 香山祐三郎(私家版・上田市) 1985
- ※「寺小屋」(p.94)
- 『ふるさと塩田村々の歴史』第二集 塩田の歴史・文化を学ぶ集い(塩田公民館) 1988. 12
- ※「筆塚」(p.216-217)
- 『年表で見る大屋の歴史』 大屋区誌刊行会 1989. 2
- ※「天保年間大屋で私塾が開かれる」(p.111)
- 『御所村の歴史』 御所歴史研究会 1989. 7
- ※「寺子屋」(p.102-103)
- 『八木沢村落誌』 八木沢郷土史研究会 1992. 4
- ※「教育」(p.72)
- 『仁古田の歴史』 1992. 11
- ※「筆塚について」(p.250-251)
- 『鈴子誌』 鈴子誌編纂委員会 1993. 12
- ※「寺子屋」(p.77-78)
- 『大久保誌』 大久保誌刊行会 1996. 11
- ※「寺子屋」(p.278)
- 『富士山村の歴史』 富士山財産管理組合 1998. 3

※「寺子屋」(p.271-276) 一寺子屋,「石碑」(p.488-491) 一筆塚

【北佐久郡】

『北佐久郡志』 北佐久郡役所 1915. 12

※「寺小屋」(p.151-155),「土屋駒人父子」(人物編p.46-48)

『北佐久郡志』 2巻歴史篇 北佐久郡志編纂会 1956. 3

※「寺子屋」(p.557-562) 一経営管理と教授訓練,寺子屋分布,心学

『北佐久郡志資料集』 佐久教育会 1967. 7

※「北佐久郡町村別寺子屋調査表」(p.390-399) 一調査表,解説(畠山忠雄)

【望月町】

『望月町誌』第4巻近世編 望月町誌刊行会 1997. 3

※「寺子屋」(p.655-665) 一諸学,寺子屋,寺子式目,望月の寺子屋,筆塚寿蔵碑,教授参考書の内容,「美術」(p.677-681) 一書道,絵,文化の普及

【御代田町】

『御代田村誌』全歴史篇現代篇 御代田村誌編纂委員会 1958. 2

※「寺子屋」(p.136-140)

『御代田町誌』図説編 御代田町誌刊行会 1992. 8

※「近世」一寺子屋(p.110)

【立科町】

『立科町誌』歴史編上 立科町誌刊行会 1997. 3

※「寺子屋,筆塚,文芸美術工芸」(p.574-584) 一寺子屋の成立と普及,寺子屋での学習,立科の寺子屋,筆塚,書道,俳諧(保科信史)

【北御牧村】

『図説北御牧村の歴史』 北御牧村 1989. 3

※「寺子屋の教科書」(p.102) 一道德掛図・庭訓往来一往来物の世界一

『北御牧村誌』歴史編Ⅰ 北御牧村誌刊行会 1997. 5

※「寺子屋,美術」(p.536-540) 一寺子屋の成立と普及,寺子屋での学習,学習科目,寺子屋での躰,北佐久郡下の寺子屋,村域の寺子屋,筆塚,書道

『北御牧村誌』歴史編Ⅱ 北御牧村誌刊行会 1999. 5

※「学制の布達と地域に生れた教育」(p.35)

【小諸市】

『川辺村誌』 川辺村誌編纂会 1957. 8

※「学校教育以前の学問」(p.226-227) 一寺小屋・手習師匠に関する事,寺小屋手習師匠

『小諸市誌』歴史編(三)近世史 小諸市教育委員会 1991. 12

※「庶民教育」(p.764~774) 一庶民教育の寺子屋,小諸の寺子屋と家塾,寺子屋書塾私塾の師匠,筆塚

『小原村（区）の歩み』 塩川友衛（私家版・小諸市） 1994. 12

※「筆塚一寿」

【南佐久郡】

『南佐久郡志』 南佐久郡役所 1919. 4（1973. 10に姉妹明治文献から復刻版が刊行）

※「学制頒布前の教育」（p.255-256）—一般庶民の教育、「人物編」（p.787）—須田撤外，高橋沙泥

【臼田町】

『十二新田の歴史（上小田切西区）』 上小田切西区 1971. 1

※「明治の学制以前」（p.53）—井出仙之助筆塚，井出利兵衛筆塚（篠原太郎）

【小海町】

『小海町志』 4 近・現代編 小海町志編集委員会 1997. 3

※「教育・幕末から明治初期」（p.164-167）—中村景沢寺の寺小屋，東馬流井出栄次郎筆塚，本間

川燈光庵跡の筆塚，川平岡部治良左衛門の筆塚，井出利左衛門橋為清筆塚，各部落の寺子屋

【南牧村】

『南牧村誌』 南牧村誌刊行会 1986. 3

※「村の歴史」—寺子屋教育と学芸（p.1077-1084）

【南相木村】

『百年の歩み』 南相木村 1989. 10

※「近代教育の始まり—学制の発布」—寺子屋から義務教育へ，教育の礎定まる（p.18-21）

【八千穂村】

【佐久市】

『平賀村誌』 平賀村誌刊行委員会 1969. 11

※「寺子屋教育」（p.242-245）—寺子屋師匠5人の紹介

『岸野村誌』 岸野村誌刊行会 1987. 12

※「教育と学芸」（p.488-496）—私塾と儒者，俳諧

『跡部区誌』 後編 跡部区長 1989. 3

※「教育」（p.155-158）—教育の進歩，大沢市川清治文書

『佐久市志』 歴史編（三）近世 佐久市 1992. 3

※「近世の学問—寺子屋・私塾」（p.791-803, 816-817）—文字と民衆，寺子屋の成立と普及，寺子屋一覧，寺子屋での学習，吉沢好兼の活動（青木歳幸）

『東村誌』 東村誌刊行会 1993. 3

※「庶民教育，庶民文芸，庶民文化の諸相」（p.538-552）—文書による支配の浸透，寺子屋教育の内容，俳諧，和算，寺子屋師匠の蔵書，文人の往来

『続・大澤村の歴史』 大沢地区文化財保存会 1993. 3

※「教育と文化」(p.105-108) 一寺小屋, 木内建文文書

[中信]

【北安曇郡】

『北安曇郡志』 北安曇郡役所 1923. 3

※「学制頒布前の教育」(p.238-251) 一寺子屋教育総説, 郡内寺子屋師匠表

【池田町】

『池田町誌』 歴史編Ⅰ (原始～近世) 池田町 1982. 2

※「私塾・寺子屋」(p.1052-1059) 一私塾・寺子屋師匠の分布, 手習い師匠の教育時代, 手習い師匠と寺子屋教育, 心学

『写真が語る池田町誌』 池田町 1985. 5

※「池田学問所, 私塾・寺子屋」(p.201-204)

【松川村】

『松川村誌』 歴史編 松川村誌刊行会 1988. 2

※「教育と学芸」(p.358-367) 一寺子屋の風景, 松川村の寺子屋と教育

【八坂村】

『八坂村誌』 歴史編 八坂村誌刊行会 1993. 11

※「寺子屋」(p.353-362) 一八坂村の寺子屋, 筆塚, 「学制以前の教育」(p.559-560)

【美麻村】

『美麻村誌』 歴史編 美麻村誌刊行会 2000. 3

※「寺子屋の教育」(p.323-334) 一寺子屋の始まり, 美麻村にあった寺子屋とその師匠, 寺子屋の入門, 学習, 寺子屋の躰と決まり, 筆塚を訪ねる

【白馬村】

『白馬のしるべ』 白馬村公民館 1970. 8

※「教育」一家塾と寺小屋, 寺小屋の師匠の身分 (p.165-167)

『白馬の歩み』 白馬村 1994. 6

※「寺小屋」(p.149) 一寺小屋の御手本, 筆塚 (写真)

『白馬の歩み (村誌)』 社会環境編上 白馬村 2000. 3

※「寺子屋と筆塚」(p.433-436) 一寺子屋の発生と師匠の身分, 寺子屋の教授内容, 江戸期に立てられた筆塚

【小谷村】

『小谷村誌』 歴史編 小谷村誌刊行委員会 1993. 9

※「教育・学芸」(p.454-468) 一学制以前の教育, 寺子屋の教授内容, 学芸と文人往来, 小谷村の寺子屋師匠と筆塚

【大町市】

『大町市史』 第三巻・近世 大町市 1986. 3

※「教育」一寺子屋の教育 (p.771-780)

【南安曇郡】

『南安曇郡誌』 南安曇郡教育会 1923. 10 (1973. 7 に明治文献から復刻版が刊行)

※「教育」(p.454-469) 一寺小屋, 郡内寺子屋一覧表

『南安曇郡誌』第三巻下 南安曇郡誌改訂編纂会 1962. 12

※「寺子屋」(p.481-488) 一寺子屋師匠一覧表

【豊科町】

『豊科町誌』歴史編・民俗編・水利編 1995. 10

※「寺子屋」(p.462-471) 一概観, 町内筆塚(小穴芳実)

【穂高町】

『穂高町誌』第2巻・歴史編上・民俗編 穂高町誌刊行会 1991. 1

※「教育と文化」(p.329-334) 一穂高町の寺子屋と私塾, 智学院と星園塾, その他の寺子屋

『穂高町誌』第3巻・歴史編下 穂高町誌刊行会 1991. 1

※「学制発布と近代初等教育の発足」(p.357-358) 一国民教育の芽ばえ(清沢久), 「明治期における穂高教育」(p.373-377) 一研成学校と創立期の教育, 穂高学校とその後の変遷(柴野弘至)

【奈川村】

『奈川(奈川村誌)』歴史編 奈川村誌刊行委員会 1994. 5

※「寺子屋と私塾」(p.423-424)

【安曇村】

『安曇村誌』第三巻・歴史下 安曇村 1998. 3

※「寺子屋」(p.705-706)

【梓川村】

『梓川村誌』歴史編 梓川村誌編さん委員会 1994. 3

※「寺子屋と筆塚」(p.311-319) 一寺子屋(村内の手習師匠一覧, 寺子屋の推移, 師匠, 入門・学習・教材など, 寺子屋の終焉)

【三郷村】

『三郷村誌』Ⅰ 三郷村誌編纂会 1980. 9

※「寺子屋」(p.765-768), 「人物誌・務台伴語(寺子屋師匠)」(p.916-917)

【堀金村】

『堀金村誌』下巻・近現代民俗編 堀金村誌刊行会 1992. 3

※「江戸時代の寺子屋教育」(p.154-168) 一寺子屋の成立, 寺子屋の状況, 寺子屋の教育内容, 寺子屋師匠

【東筑摩郡】

『東筑摩郡誌』 信濃教育会東筑摩部会 1919. 10 (1973. 6 に明治文献から復刻版が刊)

行)

※「維新前の教育」(p.341-357) 一郡内寺小屋一覧表

『東筑摩郡松本市塩尻市誌』第三巻・現代下 東筑摩郡松本市塩尻市郷土資料編纂会 1965.

11

※「学制発布前の教育」(p.436-438)

『東筑摩郡松本市塩尻市誌』第二巻・歴史下 東筑摩郡松本市塩尻市郷土資料編纂会 1968.

11

※「寺子屋と家塾」(p.856-865) 一数及び分布, 開設, 師匠の身分, 就学状況, 教授・教科書, 管理, 賞罰, 休業, 維持及び謝儀, 寺子屋の廃業, 筆塚

【明科町】

『明科町史』上巻 明科町史刊行会 1984. 3

※「文化」(p.951-1134) 一寺子屋(寺子屋, 寺子屋師匠の数, 開設年代と規模, 就学状況, 師匠の身分, 師匠の学問, 教科書や教授内容, 管理心得, 休業, 維持および謝礼, 廃業, 大変多い明科町の筆塚, 筆塚祭, 寺子屋師匠一覧表(宮川清治), 「日常生活」(p.1134-1135) 一算法書(宮川清治)

【波田町】

『波田町誌』歴史現代編 波田町誌編纂委員会 1987. 3

※「寺子屋」(p.597-601) 一波田の寺子屋師匠, 波田町の筆塚, 竜島の寺子たち

【四賀村】

『四賀村誌』 四賀村誌編纂会 1978. 3

※「寺子屋」(p.486-493) 一家塾・寺子屋の分布, 家塾・寺子屋の開設, 手習師匠の身分, 寺子・筆子, 授業の内容・教科書, 家塾・寺子屋の廃業, 村内寺子屋一覧

【坂北村】

『村誌さかきた』下巻 坂北村誌編纂会 1997. 3

※「寺子屋と家塾」(p.297-301) 一寺子屋の教育(教育内容・教科書, 寺子屋の生活)

【麻績村】

『麻績村誌』上巻 麻績村誌編纂会 1989. 6

※「寺子屋と家塾」(p.438-440) 一教育内容と教導法, 登山・束脩・謝儀

【坂井村】

『坂井村誌』 坂井村 1992. 3

※「寺子屋と家塾」(p.480-488) 一寺子屋家塾の普及, 数及び分布, 師匠の身分, 本村における寺子屋家塾, 就学状況・謝礼, 教科書・教授内容, 管理, 休業, 村内各師匠, 寺子屋の廃業と筆塚

【生坂村】

『生坂村誌』歴史・民俗編 生坂村誌編纂委員会 1997. 3

※「寺子屋」(p.212-217) 一寺子屋師匠の数, 開設・廃業年代と規模, 就学状況, 師匠の身分

【山形村】

『村誌やまがた』 山形村誌編纂会 1980. 5

※「寺小屋・家塾・筆塚」(p.515-516)

【朝日村】

『朝日村誌』下巻・歴史・地区誌・年表編 朝日村村誌刊行会 1991. 3

※「寺子屋と家塾」(p.308-316) 一はじめに, 朝日地区旧四か村の寺子屋, 寺子屋の実情, 筆塚, 心学(三村大八郎)

【松本市】

『松本市史』上巻 松本市役所 1933. 10

※「寺子屋・家塾」(p.760-765)

『芳川村誌』 芳川町会連合会 1980. 9

※「小学教育」一手習師匠一覧(p.69)

『本郷村誌』 本郷村誌編纂会 1983. 5

※「学制発布以前の教育」(p.1086-1090)

『今井地区誌』 今井地区誌編纂会 1990. 3

※「寺子屋」(p.643-647) 一寺子屋師匠と開設年代, 学林禁制の条々(天保十年の寺子屋規則)

『松本市史』第四巻・旧市町村編Ⅱ 松本市 1994. 3

※「弘化二年二月今井村学問所規定」(p.778-780)

『松本市史』第四巻・旧市町村編Ⅳ 松本市 1994. 9

※「文化十年正月岡田町村寺子屋規定」(p.253-254)

『松本市史』第二巻・歴史編Ⅱ 近世 松本市 1995. 11

※「寺子屋」(p.782-794)

【塩尻市】

『塩尻町誌』 塩尻町誌刊行会 1937. 7

※「教育」(p.549-551)

『宗賀村誌』 宗賀村誌編纂会 1961. 8

※「寺子屋」(p.167-168)

『南内田区誌』 南内田区誌刊行会 1980. 3

※「明治以前の教育」(p.316-318) 一寺子屋・家塾の概況, 南内田村の寺子屋

『塩尻市誌』第三巻・近代・現代 塩尻市 1982. 12

※「学制頒布前の塩尻の教育」一維新期における私塾・寺子屋(p.761)

『塩尻市誌』第二巻・歴史 塩尻市 1985. 2

※「文化のひろがり」と庶民教育の普及(p.902-) 一私塾・寺子屋の開業と普及, 塩尻の私塾・寺子屋師匠

『片丘村誌』 片丘村誌刊行会 1985. 3

※「寺子屋・家塾の概況」(p.529-532) 一開校, 片丘における寺子屋・家塾の内容, 「寺子屋の廃業と学制への移行」 一学校設立当時の寺子屋 (p.532)

『北小野地区誌』 北小野地区誌編纂会 1887. 3

※「寺子屋・家塾」(p.293-296), 「学制頒布前の教育」(p.553-555)

『野村区誌』 野村区 1997. 2

※「明治になるまでの教育—寺子屋時代—」(p.167-170)

【木曽郡】

『西筑摩郡誌』 西筑摩郡役所 1915. 10 (1973. 5に明治文献社から復刻版が刊行)

※「私塾寺子屋表」(p.231-238), 「人物誌」(p.631-644) 一師匠山村甚兵衛, 江間勘兵衛耀, 勝野雲巖, 千村萬作景村, 島崎正樹

【木曽福島町】

『木曽福島町史』 木曽福島町教育委員会 1982. 3

※「江戸時代」一寺子屋 (p.866-868)

【南木曽町】

『南木曽町誌』 通史編 南木曽町誌編さん委員会 1982. 3

※「寺小屋の開設」(p.482-484)

【檜川村】

『檜物と宿でくらす人々(木曽・檜川村誌・第三巻近世編)』 檜川村 1998. 7

※「かわる暮らし」一寺子屋の普及, 百瀬九郎次の勉学, 寺子屋の行事と謝礼, 本陣千村一族の就学 (p.655-667)

【木祖村】

『木祖村誌・源流の村の歴史(上)』 木祖村誌編纂委員会 2001. 3

※「寺子屋と庶民文化」一江戸時代における教育, 私塾・寺子屋 (p.406-408)

【日義村】

『日義村誌』 歴史編上巻 日義村誌編纂委員会 1998. 6

※「近世の村の生活」一寺子屋で学ぶ子どもたち (p.441-443)

【開田村】

『開田村誌』 下巻 開田村役場 1980. 10

※「教育・文化」(p.1079) 一維新前の教育(寺子屋教育)

【三岳村】

『三岳村誌』 下巻 三岳村誌編さん委員会 1988. 10

※「教育・文化・体育」一小学校教育 (p.919-920)

【王滝村】

『村誌王滝』 下巻 王滝村 1961. 2

※「学校教育」一寺小屋教育 (p.1229-1230)

【大桑村】

『須原』 須原公民館 1969. 12

※「寺小屋」(p.256-257)

【山口村】

『山口村誌』下巻・近現代民俗 山口村誌編纂委員会 1995. 3

※「教育」—学校教育 (p.189-190)

[南信]

【諏訪郡】

【下諏訪町】

『下諏訪町誌』下巻 甲陽書房(下諏訪町) 1969. 3

※「寺子屋」(p.689-696)—寺子屋, 河西幸四郎と山田商山

『増訂下諏訪町誌』中巻 甲陽書房(下諏訪町) 1989. 11

※「寺子屋」(p.689-693)

『郷土誌下の原』 下諏訪町第一区 1985. 9

※「寺小屋」(p.299-301)

【富士見町】

『富士見村誌』 富士見村誌刊行会 1961. 3

※「寺子屋と筆塚」(p.476-481)

『富士見町史』上巻 富士見町教育委員会 1991. 3

※「寺子屋と筆塚」(p.1251-1254)—教育の普及と学校, 寺子屋の開設, 筆塚

【原村】

『原村誌』上巻 原村役場 1985. 7

※「寺子屋と筆塚」(p.1022-1031)—寺子屋, 寺子屋一覧表, 筆塚

【諏訪市】

『萩倉郷土誌』 萩倉郷土誌編纂委員会 1975. 9

※「教育史大要」(p.260-261)—河西幸四郎の寺小屋

『諏訪市史』下巻・近現代 諏訪市 1976. 3

※「学制頒布以前」(p.603, 605-607)—寺子屋の教育

『中洲村史』 諏訪市中洲公民館 1985. 9

※「学芸の普及」—寺子屋, 後藤莊五郎重信, 伊藤定太 (p.670-680)

『諏訪市史』中巻・近世 諏訪市 1988. 3

※「心学舎と寺子屋」(p.719-726)—寺子屋, 筆塚

【岡谷市】

『平野村誌』上巻 平野村役場 1932. 11 (岡谷市から1984. 7に復刻版が刊行)

※「学制頒布以前の教育」(p.307-309)

『岡谷市史』上巻 岡谷市役所 1973. 2

※「寺子屋」(p.965-977) 一寺小屋師匠一覧表(熊谷貞良)

『花岡区誌』 花岡区誌編集委員会 1983. 12

※「寺子屋」(p.437-438)

『岡谷区誌』 岡谷区誌編纂委員会 1996. 9

※「寺子屋」(p.195-202) 一寺子屋の教育, 林敬生・登, 林九郎治・幸右衛門

『岡谷市今井区誌』 岡谷市今井区 2000. 2

※「信仰の石像物」(p.234-237) 一筆塚はあった, 「寺子屋とお医者様」(p.248-252) 一学校としての寺子屋, 入山・下山, 寺子の学習, 徳川天神, 名主の女房, 寺子屋の経営, 観音堂の寺子屋

【茅野市】

『笹原のあゆみ』 笹原公民館 1981. 9

※「寺小屋」(p.93-100)

『茅野市史』中巻・中世近世 茅野市 1987. 11

※「文化と教育」(p.972-997) 一儒学・心学と和算, 医学と医師, 寺子屋と庶民の教育(寺子屋の普及, 村と寺子屋), 文芸と書画

『信州金沢の歴史』 金沢村史刊行会 1992. 3

※「江戸時代の教育」一金沢の寺子屋(p.729)

【上伊那郡】

『上伊那郡誌』 上伊那郡教育会 1921. 10

※「教育」一概説, 庶民教育(寺子屋の名称, 師匠及寺子, 入学退学, 教科書, 教授法, 訓練)(p.685-698), 高遠藩学と寺子屋との関係及藩学の伝統(p.715-717)

『長野県上伊那郡誌』第二巻歴史編 上伊那郡誌刊行会 1965. 10

※「寺小屋」(p.1262-1265), 「書道」(p.1346-1347)

【辰野町】

『上辰野区史』 上辰野区 1965. 11

※「学校の変遷」(p.335)

『朝日村史』 朝日村史刊行会 1968. 8

※「学校統合以前」(p.468-469) 一塾

『辰野町史』歴史編 辰野町誌刊行委員会 1990. 9

※「寺子屋」(p.981-997) 一寺子屋の開設と手習師匠, 寺子屋の教育内容と学習状況, 頌徳碑の建立, 筆塚一覧表, 「儒学」(p.997-1000), 「算学」(p.1005-1010)

『区制百周年記念平出区誌』 平出区誌刊行委員会 1993. 7

※「学制発布以前の教育」(p.353-356) 一法印通応, 三沢源三, 赤羽隆民, 岩垂利平

【箕輪町】

『箕輪町誌』歴史編 箕輪町誌編纂刊行委員会 1986. 3

※「寺子屋」(p.1160-1168) 一寺子屋について、寺子屋の手本、寺子屋の教育方法、寺子屋の師匠、町内の主な資料(矢沢喬治)

【飯島町】

『飯島町誌』中巻・中世近世編 飯島町 1996. 2

※「寺子屋教育」(p.814-819) 一寺子屋、寺子屋の教科、飯島での寺子屋師匠

【南箕輪村】

『南箕輪村誌』下巻・歴史編 南箕輪村誌刊行委員会 1985. 10

※「学芸と教育」(p.324-340) 一俳文学、和歌、近世の教育(寺子屋・私塾教育、寺子屋の起源と発達、寺子屋・私塾の特色、就学状況、教材と教科、教授法、休業日、束脩および謝礼、寺子屋の内容、奉公人の教育、若者制度)

【中川村】

『南向村誌』 中川東公民館 1966. 3

※「寺小屋教育」(p.284-285)

『片桐村誌』 中川西公民館 1966. 7

※「教育の普及と地方文化」(p.391-393) 一教育の普及と地方、片桐村の寺子屋

【長谷村】

『長谷村誌』第二巻・自然現代社会編 長谷村誌刊行委員会 1994. 5

※「学制頒布以前の教育」(p.551-555) 一長谷村の家塾

『長谷村誌』第三巻・歴史編下 長谷村誌刊行委員会 1997. 9

※「寺子屋」(p.1365-1373) 一はじめに、内容、教科書等、師匠名、寺子屋の実施状況、その他

【宮田村】

『宮田村誌』下巻 宮田村誌刊行会 1983. 2

※「寺子屋から郷学校」(p.341-343) 一宮田村の寺子屋概要、寺子屋の教科書

【伊那市】

『みすゞーその自然と歴史ー』 甲陽書房 1961. 12

※「みすゞの芸術家ー玉斎と井月ー」(p.441-446)

『東春近村誌』 東春近村誌刊行委員会 1972. 1

※「江戸時代の教育」(p.731-738) 一徳川時代の教育、伊那地方に行われた教科書、東春近文化、寺子屋教育の発祥、寺子屋教育、寺子屋教育の学統

『みすゞ現代編ーその成立と発展ー』 美篤村誌編纂委員会 1972. 7

※「学校教育」(p.120-124) 一江戸時代高遠藩の教育、寺小屋、学校創立以前における美篤の教育、寺小屋時代の師匠

『伊那市史』現代編 伊那市史編纂委員会 1982. 11

※「学制施行以前の教育」(p.747-748) 一寺小屋・私塾(伊那市域の寺小屋師匠、寺小屋の教育内容、筆塚)

【駒ヶ根市】

『上穂町区誌』 上穂町区 1999. 12

※「寺子屋時代の赤穂の教育」(p.259-260)

【下伊那郡】

【松川町】

『上片桐村誌』 上片桐村誌編纂委員会 1965. 7

※「社会教化の普及と地方文化」(p.434-435) 一当代地方教育, 上片桐における寺子屋

『生田村誌』 生田村誌刊行委員会 1981. 9

※「教育の普及と地方」(p.521), 「生田村における寺小屋」(p.521-524)

【高森町】

『高森町誌』 上巻後編 高森町誌刊行会 1972. 1

※「寺子屋」(p.1244-1254) 一橋都与右衛門他29名

【阿南町】

『阿南町誌』 上巻 阿南町 1987. 10

※「寺子屋」(p.949-959) 一富草における寺子屋, 大下条における寺子屋, 和合における寺子屋,
帯川における寺子屋, 新野における寺子屋

【清内路村】

『清内路村誌』 下巻 清内路村誌刊行会 1982. 3

※「学制以前の教育」(p.196)

【阿智村】

『阿智村誌』 山村書院(飯田) 1934. 12

※「寺小屋教育」(p.230-234) 一寺小屋教育, 本村の寺子屋教育

『阿智村誌』 上巻 阿智村誌刊行委員会 1984. 3

※「寺子屋教育」(p.833-856) 一寺子屋, 寺子式目, 寺子屋師匠の事績

【浪合村】

『浪合村誌』 下巻 浪合村誌刊行会 1984. 3

※「明治初年の教育」(p.797-800) 一庶民の教育, 天満宮碑

【平谷村】

『平谷村誌』 下巻 平谷村誌刊行委員会 1996. 6

※「創始期の学校」一雲谷寺に借用(p.159-160)

【根羽村】

『根羽村誌』 下巻 根羽村誌刊行委員会 1993. 3

※「学制以前」(p.343-344) 一寺子屋教育の概要, 根羽村における寺子屋

【下條村】

『下條村誌』 上巻 下條村誌刊行委員会 1977. 7

※「寺小屋・庶民の文化」(p.853-863) 一庶民教育, 村の寺子屋(塩沢亮)

【天龍村】

『天龍村史』上巻 天龍村役場 2000. 11

※「寺子屋教育」(p.1261-1265) —平岡村の寺子屋, 清水伊平治, 清水三津左衛門, 森田良造, 宮沢貴朗

【泰阜村】

『泰阜村誌』上巻 泰阜村役場 1984. 11

※「教学」(p.383-387) —庶民教育, その他の庶民教育

【喬木村】

『大島村誌』 大島村役場 1956. 8

※「教育の普及と地方文化」(p.324-327) —当代の地方教育, 大島村における寺子屋

『喬木村誌』上巻 喬木村役場 1979. 5

※「学制発布前の教育」(p.853-858) —庶民教育の発祥, 寺小屋教育

【豊丘村】

『豊丘村誌』上巻 豊岡村誌刊行会 1975. 12

※「寺子屋と私塾」(p.517-533) —寺子屋, 寺子屋師匠

【大鹿村】

『大鹿村誌』上巻 大鹿村誌刊行委員会 1984. 1

※「農民の教育」(p.774-777) —農民の読み書き算盤の必要性, 手習(寺子屋教育), 五人組帳前書による教育

【南信濃村】

『南信濃村史・遠山』 南信濃村 1976. 12

※「学制発布以前の教育」—私塾寺小屋時代 (p.332-334)

【飯田市】

『龍江村史』 甲陽書房(下諏訪町) 1952. 12

※「学問の普及と寺小屋」(p.120-122)

『龍江村誌』 龍江村誌刊行委員会 1997. 2

※「寺子屋」(p.304-310) —寺子屋, 寺入, 教具, 教材, 天神講, 束脩, 師弟の関係, 下伊那における寺子屋・私塾, 瀧江における寺子屋・私塾

『山本村誌』 山本村誌編纂会 1957. 10

※「維新前の教育」(p.315-316) —養寿院の塾, 深淵顕照の塾

『竜丘村誌』 竜丘村誌刊行委員会 1968. 11

※「学制頒布以前の教育」(p.1093-1094) —寺子屋時代

『鼎町誌』 鼎町史編纂委員会 1969. 7

※「寺小屋教育」(p.390)

『鼎町史』上巻 鼎町史刊行委員会 1986. 3

※「寺小屋」(p.621), 「和算・剣術」(p.628-630)

『虎岩史』 池田覚海（私家版・東京都） 1971. 12

※「寺小屋その他」（p.135-142）一師匠一覧表

『下久堅村誌』 下久堅村誌刊行委員会 1973. 2

※「寺小屋その他」（p.553-566）一概説及び一覧表，虎岩村の寺小屋，知久平村の寺小屋，南原村の寺小屋，小林の寺小屋，柿の沢村の寺小屋，俳句のことなど（平沢清人）

『上郷史』 上郷史刊行会 1978. 5

※「寺小屋」（p.1285-1292）一館松千足，代田齊太郎

『松尾村誌』 松尾村誌刊行委員会 1982. 2

※「寺小屋」（p.219-220），「教育制度の変遷」（p.385）一概説，「学校教育」（p.391-392）一松尾学校

『毛賀史』 毛賀史刊行委員会 1987. 2

※「毛賀学校」一関塾，毛賀学校設立（p.363-365）

『川路村誌』 川路村誌刊行委員会 1988. 3

※「学制発布以前の教育」一川路の寺子屋，寺子屋教育の内容（p.326-328）

『三穂村史』 三穂村史編纂刊行会 1988. 7

※「農民の教養」（p.238-241）

『座光寺村史』 座光寺村史刊行委員会 1993. 1

※「寺子屋」（p.642-626）一座光寺の寺子屋，北原家入門者数

『飯田市丸山誌』 丸山公民館 2000. 1

※「教育文化」（p.132-134）一寺子屋の教育，丸山における寺子屋

『名古屋区誌』 名古屋区誌刊行委員会 2000. 1

※「明治以前の教育」（p.285-287）一寺子屋のこと，寺子屋運松寺，寺子屋市瀬折右衛門塾，寺子屋の教材

Ⅲ. 教育沿革史

[長野県全般]

文部省『日本教育史資料』八 富山房（東京） 1892. 9

※「長野県」（p.548-634）一私塾125，寺子屋1341が報告されている

『長野県教育史』第五巻・教育課程編二 長野県教育史刊行会 1974. 3

※「学制以前の和算の教育」（p.14-16），「藩校寺子屋私塾の数学教育」（p.17-21）一藩校の数学教育，寺子屋私塾の数学教育，趣味として生活技術としての数学研究（赤羽千鶴），「庶民の美術工芸の伝習」（p.228-230）一絵師と宮大工，庶民の物作りの伝習（宮坂彦一），「私塾寺子屋の音楽教育」（p.444-446）一私塾の音律と寺子屋の謡曲，謡の師匠（柳沢巽），「養生」（p.636-637）一漢方医薬（松沢平一），「学制以前の家事裁縫教育」（p.807-812）一女大学と象山女訓，寺子屋私塾の女子教育，お針のお稽古（小野貞子）

『長野県教育史』第六巻・教育課程編三 長野県教育史刊行会 1976. 3

※「寺子屋における実用的地理教育」(p.16-27) —読み書きの中の地理学習, 地理教材としての往来物, 地理往来物(内山信政), 「漢学塾・国学塾の歴史教育と往来物の歴史教材」(p.212-223) —漢学塾の歴史教育, 往来物にみる歴史教材, 「和歌『社中』・国学の歴史教育と義民の伝承」(p.223-236) —和歌『社中』の歴史学習, 国学の歴史研究と国家意識, 義民の伝承と民衆の歴史意識(上條宏之), 「寺子屋における教訓書と行儀の躰」(p.458-462) —読み書きに使用した教訓書, 寺子屋の掟, 「心学による民衆の教化」(p.462-465) —信濃国に設けられた心学講舎, 社中巡講・施本など, 「教化政策」(p.465-468) —藩主から村役人への申達, 「女子の道德教育」(p.468-471) —女の守るべき道, 松代藩士子女の『我が母の躰』(大江亀治), 「寺子屋の行事」(p.780-783) —寺入り・寺下がり, 天神講と七夕祭, 清書と褒美(中島正利)

『長野県教育史』第四巻・教育課程編一 長野県教育史刊行会 1979. 3

※「寺子屋における教育課程の展開」(p.37-68) —寺子屋普及の背景, 山吹村寺子屋における教育内容, 寺子屋の教科目の変化, 教材からみた寺子屋の動向, 寺子屋教材の段階的構成, 寺子屋における学習の方法, 地域教材の種類と特色, 地理的教材, 公民的・実科的教材, 総合的教材, 教訓教材, 寺子屋における教育内容・方法の特質(稲垣忠彦), 「私塾の和漢学」(p.431-433) —一般教養の課程, 専門課程, 「寺子屋の読み書き」(p.433-442) —書き手本, 手習いの方法, 読み手本, 清書き素読吟味(近藤頼道), 「民衆における経験的知識の蓄積」(p.741-745) —生産技術の発達と自然認識の拡大, 養蚕業における科学の芽ばえ, 実学的諸学の普及, 「地域産業の発展と実用的知識の教育」(p.908-913) —商品経済の進展と農業技術の進歩, 信濃国の産業往来物, 実業教育としての読書算(小林重章)

『長野県教育史』第八巻・史料編二 長野県教育史刊行会 1973. 3

※「私塾寺子屋」(p.3-891), 「信濃国の往来物」(p.892-1021), 「私塾認可伺いと幼童教訓書籍取調べ」(p.1022-1038)

『長野県教育史』第一巻・総説編一 長野県教育史刊行会 1978. 3

※「私塾・寺子屋の普及」(p.90-159) —私塾・寺子屋の設立(私塾・寺子屋の創設と普及, 庶民のめざめと教育のすすめ, 個人の開業と共立学問所の設立, 和算の導入と普及, 維新期における国学者の学校設立計画), 私塾・寺子屋の師匠(私塾の師匠と教授, 相伝・雇い・遊歴の師匠, 師匠の学歴と教養, 師匠の生活と収支), 寺子屋の教育(寺子の入門, 手習本と往来物, 手習い稽古, 定書と賞罰, 寺子の生活と行事, 寺子の就学状況)(高見沢領一郎, 名倉英三郎)

[北信]

【上水内郡】

【豊野町】

『神郷教育史』 神郷教育史刊行会 1974. 6

※「寺子屋教育」(p.1-16) —寺子屋のおこり, 近代学校の先駆, 百年の歩み, 師匠一覧表, 師匠略歴

【下高井郡】

『教育につくした人々』 下高井教育会 1995. 3

※「須賀川に教育の灯をともした福井幸右衛門氏，湯本左源太，宰木父子，伝田塾，土屋五郎治・重右衛門・勝右衛門」(p. 3-9)

【更埴市】

『更埴教育会百年誌』 更埴教育会 1987. 11

※「近世および明治初年の教育」(p.23-56) 一概説，寺子屋とその教育（村々に開かれた更埴地方の寺子屋，さまざまな寺子屋師匠，学び始めの歳・女子も入門，わずかな入門料と授業料，読み書きそろばん）

〔東信〕

〔中信〕

【南安曇郡】

【豊科町】

『南安曇教育会百年誌』 1988. 11

※「近代教育草創期の南安曇教育」(p.19-35) 一概説，南安曇郡下の寺子屋（寺子屋の成立，寺子屋・家塾の状況，寺子屋の終息）

【東筑摩郡】

【四賀村】

【朝日村】

『朝日村教育沿革誌』 1971. 12

※「学校開設以前の庶民教育」(p. 8-26) 一庶民の読・書・算盤，朝日村四ヵ村内の寺子屋，寺子屋の実状並びに学校との関係

【松本市】

『松本市教育会百年誌』 1984. 11

※「近代以前の教育」(p.36-43) 一寺子屋の普及（松本地区での寺子屋の成立，寺子屋の教育，寺子屋の師匠）

【木曽郡】

『木曽教育会百年誌』 1986. 10

※「私塾・寺子屋と庶民文化」(p.15-23) 一大脇自笑私塾，寺子屋

〔南信〕

【下伊那郡】

下伊那教育会史編集委員会編『下伊那教育会史百周年記念』 下伊那教育会 1987. 10

※「近代学校の先駆郷学校の設置」(p.3-6)

Ⅳ．学校史

[北信]

【下水内郡】

【豊田村】

『豊井小学校沿革誌』 豊田村立豊井小学校 1974. 8

※「寺子屋時代」(p.25) 一豊井村内神田圭斉の寺子屋

『永田小学校沿革誌』 豊田村立豊井小学校 1976. 11

※「寺小屋時代」(p.80-85)

【飯山市】

『富倉小学校百年誌』 飯山市立富倉小学校 1975. 3

※「明治初年以前の教育」(p.1-4) 一寺小屋教育, 能書にして学者の出現, 仲条六兵衛の手習

『飯山小学校百年誌』 飯山市立飯山小学校 1973. 10

※「寺子屋と町師匠」(p.71-74)

『秋津学校百歳誌』 飯山市立秋津小学校 1974. 1

※「学校教育創設以前」(p.22-29)

『常盤小学校百周年記念誌』 飯山市立常盤小学校 1989. 12

※「学制以前の教育のあゆみ」(p.29-35) 一教育の普及, 常盤教育の発祥, 寺子屋のお手本

【上水内郡】

【信州新町】

『水内小学校閉校記念誌』 信州新町立水内小学校 1964. 3

※「明治以前の教育(幕末)」(p.42-44) 一寺子屋教育, 寺子屋の学科と教科書

『長野県犀峡高等学校創立六十周年記念誌』 長野県犀峡高等学校同窓会 1981. 4

※「明治初年の新学制」(p.29)

【豊野町】

『豊野西小学校史』 豊野町立豊野西小学校 1989. 11

※「村の生活と若者」(p.11-21) 一若者の習いごと, 諸芸の師匠たち, 生花の稽古, 謡の稽古と北信流, 「寺子屋の師匠たち」(p.57-64) 一寺子屋の普及, 手習い師匠一覧, 束脩と謝儀, 「手習いと行事」(p.64-69) 一お手本と往来物, 天神講と七夕まつり

『立石が丘の百年』(豊野東小学校開校百周年記念誌) 豊野町立豊野東小学校 1989. 12

※「近代教育のあけぼの」(p.16-19) 一寺子屋の頃, 開校前の先達, 江戸末期から明治にかけて活躍した文人

【信濃町】

『柏原学校百年史』 信濃町立柏原小学校 1975. 3

※「柏原村の寺子屋」(p.15, 35-48) 一開業した寺子屋と私塾認可願い, 修文堂と北村方義, 「資料

北村方義伝」(p.615-619)

『百周年記念誌』 信濃町立野尻湖小学校 1975. 3

※「野尻村の寺子屋」(p.29-33) 一学制頒布以前の教育(明治五年以前)

『古海小学校百年誌』 信濃町立古海小学校 1975. 11

※「学制以前の古海の教育」(p.92-98) 一寺子屋時代

『百周年記念誌』 信濃町立富士里小学校 1977. 3

※「学制以前の教育」(p.91-98) 一寺子屋, 報徳碑, 寺子屋の終末

【牟礼村】

『牟礼村学校誌』 牟礼村 1997. 11

※「寺子屋の教育」(p. 3-18) 一寺子屋教育(寺子屋教育の必要性, 寺子屋教育の内容と方法), 寺子屋の師匠, まとめ(矢野恒雄)

【三水村】

『赤塩学校百年誌』 三水村立赤塩小学校 1974. 12

※「学制頒布前の教育」(p.41-42) 一寺子屋の教育

『三水第一小学校史』 三水村立第一小学校 1989. 3

※「村の青年の教養」(p. 9-34) 一青年の教養, 文学と芸術, 和算, 「寺子屋」(p.35-56) 一寺子屋の開設(寺子屋の普及, 開業した師匠たち, 師匠の経歴, 寺子の入門と束脩・謝儀), 手習いと行事(手習手本と内容, 手習いと行事)(中村一雄)

【小川町】

『もりきっ子一小根山の学校とくらしの百年—(上水内郡小川村小根山分校開校百周年記念誌)』 小川村小根山分校 1975. 3

※「小根山の寺子屋」(p.58-60), 「小川学校の設立」(p.61-63)

【中条村】

『日下野学校史—創立から閉校まで—』 中条村立日下野小学校 1977. 10

※「念仏寺村と梅木村の寺子屋」(p.49-71) 一明治初年まで行われた寺子屋教育, 屋代から来て筆師匠をした武田識正, 鍛冶職で手習師匠をした今井浅右衛門, 農のかたわら寺子屋師匠をした山野井八左衛門, 医師の身分で師匠をした大内玄理と松田民蔵, 門弟の婚姻の世話などとした大内保左衛門, 謡い師匠の鈴木市左衛門, 祖宗天神をまつられた笠井交治郎, 若くして師匠・戸長もつとめた児島幾之充, 正法寺住職で手習を教えた下条栄雅, 寺子屋教育のおわり

『御山里小学校閉校記念誌』 中条村立御山里小学校 1978. 6

※「学制公布の以前の教育」(p.44-54) 一概観, 心学のこと, 寺子屋の教育, 御山里地域の寺子屋師匠

【長野市】

『塩崎学校百周年記念史』 長野市立塩崎小学校 1973. 11

※「近世の庶民文化」(p.24-25)

『長野市三輪小学校開校百周年記念誌』 長野市立三輪小学校 1973. 11

- ※「学制前後の三輪の教育」(p. 2-4) 一明治維新前後の文化と寺小屋, 「特別寄稿」(p. 278-287)
一明治維新前後における寺小屋, 塾の師匠の事績概要(霜田巖)
- 『長野城山小学校百年史』 長野市立城山小学校 1973. 12
- ※「学制以前の長野町の教育」(p. 67-79) 一寺子屋と私塾, 長野町の寺子屋と私塾, 随行坊
- 『真島小学校百年誌』 長野市立真島小学校 1973. 12
- ※「進脩学校の前史」(p. 15-18) 一寺小屋の教育, 寺小屋の師匠と筆塚
- 『通明小学校百年史』 長野市立通明小学校 1974. 2
- ※「寺子屋」(p. 27-32) 一布施村・栄村寺子屋一覧等, 「寺子屋宝昌寺」(p. 65-66)
- 『共和小学校開校百年史』 長野市立共和小学校 1974. 3
- ※「学校開設以前」(p. 31-33)
- 『吉田小学校百年史』 長野市立吉田小学校 1975. 1
- ※「口絵」(p. 2) 一幕末・明治の文化人と寺子屋師匠の碑, 寺子屋師匠遺品, 「学制頒布前後の吉田の教育」(p. 3-22) 一吉田の教育, 吉田における普及状況, 寺子屋師匠の身分と束脩謝儀, 寺子屋教育の実際
- 『信里小学校百年誌』 長野市立信里小学校 1975. 8
- ※「小学校開校以前(準備期)」(p. 14-15) 一信里出身の寺子屋師匠
- 『後町教育百年』 長野市立後町小学校 1975. 11
- ※「後町地区の寺子屋と私塾, 嘯古堂と北村方義」(p. 5-9)
- 『青木島小学校百年誌』 長野市立青木島小学校 1975. 12
- ※「学制以前の教育」(p. 57-67) 一寺子屋における教育(読み書き教育のひろがり, 教授内容と教科書), 青木島における寺子屋(青木島の寺子屋師匠, 寺子屋の経営)
- 『芋井学校の百年・第二分校の開校に際して』 長野市立芋井小学校 1976. 3
- ※「学制以前における芋井地区の寺子屋教育」(p. 20-28)
- 『東福寺小学校閉校記念誌』 長野市立東福寺小学校 1976. 3
- ※「学制以前の教育一私塾・寺子屋教育時代一」(p. 47-56) 一東福寺の私塾・寺子屋と師匠たち, 私塾・寺子屋教育の実際
- 『西寺尾小学校記念誌』 長野市立西寺尾小学校 1976. 6
- ※「学校以前の教育」(p. 25-26)
- 『昭和小学校百年誌』 長野市立昭和小学校 1977. 12
- ※「学校開設以前」(p. 190-195) 一昭和地区の私塾・寺子屋, 私塾・寺子屋の経営, 明治草創期～学制と寺子屋
- 『川柳小学校誌』 長野市立川柳小学校 1978. 4
- ※「寺小屋と私塾」(p. 38-45) 一寺小屋の発生とその教育, 川柳の寺小屋とその師匠
- 『更府小学校百年のあゆみ』 長野市立更府小学校 1980. 3
- ※「学制発布以前の教育」(p. 21-24) 一寺子屋教育, 更府地域の寺子屋師匠
- 『東条のあゆみ一ふるさととふるさとの学校一』 長野市立東条小学校 1985. 11

- ※「寺子屋・私塾の隆盛」(p.270-272) 一宮沢家の寺子屋, 落合瀬左衛門の在流齋, その他の寺子屋・私塾, 寺子屋・私塾の歴史的意義, 信濃の寺子屋
- 『大豆島小学校沿革誌』 長野市立大豆島小学校 1985. 12
- ※「私塾・寺子屋の教育」(p.17-29) 一私塾・寺子屋の開業, 手習学科と手習本, 寺子屋の謝礼と筆塚
- 『西条小学校創立百十周年記念誌』 長野市立西条小学校 1986. 5
- ※「寺小屋・私塾での庶民教育, 寺小屋や私塾での教育」(p.37-39)
- 『清野小学校開校百年誌』 長野市立清野小学校 1986. 12
- ※「清野の寺子屋」(p.24-28)
- 『川中島小学校百二十年史』 長野市立川中島小学校 1989. 3
- ※「寺子屋と師匠」(p.11-17) 一川中島地区の寺子屋師匠, 寺子屋師匠の出身と寺子屋, 寺子屋の教授と経営, 諸芸の伝習と師匠, 「算学塾の師匠」(p.17-19) 一川中島地区の和算, 和算家とその塾, 「中村一雄先生記念講演記録」(p.457-466)
- 『安茂里小学校百周年記念誌』 長野市立安茂里小学校 1989. 11
- ※「私塾・寺子屋の教育」(p.49-52) 一寺子屋の設立, 私塾・寺子屋の師匠, 安茂里の私塾・寺子屋, 「筆塚」(p.52-54,56) 一安茂里の筆塚, 「和算」(p.52,55) 一安茂里の和算
- 『浅川小学校百周年記念誌』 長野市立浅川小学校 1990. 3
- ※「寺小屋」(p.4-6) 一寺小屋師匠一覧, 教育内容
- 『朝陽小学校百年のあゆみ』 長野市立朝陽小学校 1990. 3
- ※「江戸時代末期の寺子屋教育」(p.6-9) 一上水内郡寺子屋取調表の一例, 寺子屋師匠一覧
- 『古里小学校百年誌』 長野市立古里小学校 1990. 3
- ※「学校開設以前の村の教育」(p.31-41) 一藩学と寺子屋～藩校, 古里地区の寺子屋, 古里地区の和算, 和算に使用される文字と表記
- 『ふるさととくま』 長野市立徳間小学校 1990. 11
- ※「『学制』以前の教育」(p.1), 「寺子屋と筆塚」(p.69-71)
- 『若槻小学校百年史』 長野市立若槻小学校 1991. 3
- ※「近世以前の教育」(p.1-19) 一若槻地区の私塾・寺子屋師匠, 寺子屋の経営と教育, 寺子屋の廃止と郷学校の設立 (寺子屋師匠開業期間一覧表含む)
- 『鍋屋田小学校九十周年記念誌』 長野市立鍋屋田小学校 1995. 1
- ※「鍋屋田地区の寺小屋と私塾」(p.32-33)
- 『村山分校開校記念誌』 長野市立信里小学校村山分校 1996. 8
- ※「長野市立信里小学校村山分校教育のあしどり」(p.1-3) 一安永年間頃よりの寺子屋から明治まで, 村山を中心とした寺子屋
- 【下高井郡】
- 【山ノ内町】
- 『山ノ内西小学校百年史』 山ノ内町立西小学校 1974. 4

※「夜間瀬学校開校以前（明治六年以前）」（p.1-13）一夜間瀬の寺子屋，師匠の略伝，寺子屋の教育，子弟の情愛を伝える筆塚

『ふるさと須賀川』 山ノ内町立北小学校 1977. 10

※「寺小屋時代の須賀川」（p.72-77）

『蓋岳学校より南小学校へー長野県山ノ内町南小学校の沿革ー』 山ノ内町立南小学校
1981. 6

※「学校教育以前の子弟の教育」（p.1-18）一江戸時代の庶民の教育，家塾や寺小屋での教育

『山ノ内町東小学校沿革史』 山ノ内町立東小学校 1984. 11

※「湯田中村・上条村の寺子屋」（p.20-45）一寺子屋の開設，学習と行事，師匠中村孝右衛門と象山

【木島平村】

『往郷教育九十年のあゆみ』 木島平村立中部小学校 1963. 11

※「明治初期の往郷教育」（p.9-10）一学制頒布以前

『南部小学校改築記念誌』 木島平村立南部小学校 1988. 7

※「寺子屋の時代」（p.128-130）一手本，佐藤宗伯の碑，上木島の寺子屋一覧，渡辺養安養斎父子の碑

『往郷・中部小学校沿革誌』 木島平村立中部小学校 1997. 5

※「往郷の私塾・寺子屋」（p.19-37）一あらまし，この地方の学問・文芸，（p.37-48）一往郷の私塾・寺子屋，（個別事例の紹介），私塾・寺子屋の教育（入門，学習内容，教科書，指導方法，師弟の間柄）

【中野市】

『信州中野小学校百年史』 中野市立信州中野小学校 1973. 11

※「中野の私塾・寺子屋」（p.3-21）一中野に設けられた私塾・寺子屋，私塾・寺子屋の経営，私塾・寺子屋の教育，「学制発布により私塾・寺子屋から小学校へ」（p.28-37）一学制施行後の私塾，学制施行後の学校所在地となった私塾・寺子屋，私塾・寺子屋の師匠・筆子が小学校職員・生徒に

『科野小学校沿革誌』 中野市立科野小学校 1974. 1

※「孝道学校開校以前のころ」（p.1-11）一科野の寺小屋

『平野小学校百年誌』 中野市立平野小学校 1975. 3

※「私塾と寺小屋」（p.16-34）一そのあらまし，平野（第四十二区）の私塾・寺小屋総覧表，主な師匠について，農業振興者山田松斉先生

『統合十周年記念誌・長丘教育のあゆみ』 中野市立長丘小学校 1976. 12

※「長丘の寺子屋」（p.13-25）一寺子屋の概要，主な寺子屋，寺子屋から学校へ

『統合三十周年記念誌・昭和から平成へ』 中野市立長丘小学校 1996. 11

※「長丘小学校変遷表」（p.13）

【上高井郡】

【小布施町】

『学校沿革誌』 小布施町立都住小学校 1967. 11

※「明治維新前後の教育」(p. 7) 一寺子屋師匠表

『小布施小学校沿革誌』 小布施町立小布施小学校 1973. 3

※「学制頒布以前の教育及び人材」(p. 29-32) 一私学

【高山村】

『高井小学校沿革誌』 高山村立高井小学校 1976. 11

※「幕末の寺小屋教育」(p. 31), 「寺小屋教育」(p. 40-43) 一高井地区の寺小屋, 牧地区の寺小屋

【須坂市】

『日滝小学校百年誌』 須坂市立日滝小学校 1974. 11

※学制以前の日滝の教育(明治六年以前)(p. 17-34) 一庶民教育のひろがり, 日滝の寺子屋とその師匠たち

『小山小学校百年史』 須坂市立小山小学校 1974. 12

※「寺子屋の教育, 小山地区の寺子屋教育」(p. 48-54)

『豊洲小学校百周年記念誌』 須坂市立豊洲小学校 1989. 12

※「維新前後」(p. 25-26) 一寺小屋, 私塾, 藩校

【更級郡】

【上山田町】

『上山田小学校百年誌』 上山田町立上山田小学校 1974. 5

※「学制発布以前の教育」(p. 23-26) 一寺子屋の教育, 上山田地区の寺子屋教育, 上山田地区の著名な師匠

【埴科郡】

【坂城町】

『村上小学校百年誌』 坂城町立村上小学校 1974. 11

※「学制発布以前の教育」(p. 37-43) 一寺子屋教育, 寺子屋師匠

『南条小学校百年誌』 坂城町立南条小学校 1977. 11

※「江戸時代の教育」(p. 35-41) 一学制発布以前の教育, 中之条・南条の寺子屋教育, 寺子屋の師匠

『坂城小学校百年誌』 坂城町立坂城小学校 1979. 11

※「学制発布以前の教育」(p. 47-62) 一寺子屋教育の概観, 坂城町の寺子屋と師匠, 坂城町の筆塚

【戸倉町】

『戸倉小学校沿革史』 戸倉町立戸倉小学校 1967. 5

※「学制以前のうつりかわり」(p. 68-77) 一概観, 戸倉村における寺子屋教育

『さらしなの里』 戸倉町立更級小学校 1975. 3

※「幕藩期から明治はじめの寺子屋教育」(p. 6-8)

『五加小学校百年史』 戸倉町立五加小学校 1976. 5

- ※「維新前の教育」(p.23-24) 一維新前当地にあった寺子屋および私塾、私塾における授業の準備
および教科書

【更埴市】

『埴生小学校百周年記念誌』 更埴市立埴生小学校 1973. 11

- ※「江戸時代の教育」(p.19-30) 一概観、藩校、寺子屋(教科の内容、寺子屋教育の特色、埴生地区の寺子屋教育)

『桑原小学校沿革誌』 更埴市立桑原小学校 1974. 1

- ※「寺子屋時代」(p.23)

『更埴市立東小学校百年史』 更埴市立東小学校 1977. 12

- ※「明治以降の文化」(p.83) 一寺子屋以後、「寺子屋」(p.96-106) 一寺子屋のはじまり、村の寺子屋(森村、倉科、雨宮)、寺子屋の教育

『屋代高校六十年史』 長野県屋代高等学校同窓会 1983. 10

- ※「更埴地域の教育態勢」(p.9-13) 一藩学・私塾・寺子屋の教育

[東信]

【小県郡】

【丸子町】

『東内小学校史』 丸子町立丸子中央小学校東内部校 1971. 1

- ※「東内地区における寺小屋教育」(p.86) 一東内地区の寺小屋教育

『丸子中央小学校百年史』 丸子町立丸子中央小学校 1973. 10

- ※「学制発布以前の教育」(p.133-134) 一概要、学区内における寺子屋教育

『塩川学校百年誌』 丸子町立塩川小学校 1974. 11

- ※「学制発布以前の教育」(p.109-110) 一寺小屋師匠の表(旧小県郡誌から抜粋)、宮沢香潭の筆塚

『長瀬学校の歩み』 丸子町立長瀬小学校 1974. 11

- ※「明治新教育の土台になった寺子屋」(p.13-20) 一寺子屋と私塾、よみ・かき・そろばん、長瀬地方の寺子屋・私塾

【東部町】

『和小学校百年誌』 東部町立和小学校 1979. 10

- ※「寺子屋教育筆塚」(口絵写真)、「学制発布以前の和の教育」(p.98-103) 一私塾・寺子屋の教育、和における私塾・寺子屋、学校への発展

『弥津小学校ここに百年』 東部町立弥津小学校 1993. 9

- ※「学制発布以前の教育」(p.72-74) 一寺子屋師匠一覧表

【真田町】

『傍陽小学校百年誌』 真田町立傍陽小学校 1973. 6

- ※「寺子屋」(p.111-114) 一傍陽村の寺子屋、師匠略伝

『長小学校百年誌』 真田町立長小学校 1975. 12

※「学制発布以前の教育」(p. 1-5) 一寺子屋の起源, 寺子屋の数とその教育, 長地区の寺子屋
『本原小学校百年誌・育英』 真田町立本原小学校 1989. 12

※「年表百年の歩み」(p. 3) 一寺子屋について, 「寺子屋」(p. 42-44) 一本原の寺子屋

【青木村】

『青木村立青木小学校百年の歩み』 青木村立青木小学校 1973. 10

※「寺小屋」(p. 47-48) 一寺小屋表

【上田市】

『小泉小学校百年のあゆみ』 上田市立小泉小学校 1973. 12

※「学制発布以前の寺小屋教育」(p. 35)

『川辺小学校百年誌』 上田市立川辺小学校 1974. 3

※「江戸時代末期の教育」(p. 87-88) 一家塾・寺小屋の教科書, 川辺における家塾・寺小屋一覧表
『上田市立北小学校五十年史』 上田市立北小学校 1978. 10

※「北小創設の頃の教育」(p. 91) 一概観, 藩学と寺小屋教育
『学校誌しろした』 上田市立城下小学校 1983. 3

※「学制以前の教育」(p. 44-48) 一江戸時代から明治へ, 城下地区の寺子屋
『60周年記念誌・花と緑の学校』 上田市立北小学校 1983. 10

※「北小創設の頃の教育」(p. 14) 一概観, 藩学と寺小屋
『清明30周年記念誌』 上田市立清明小学校 1988. 10

※「統合前の沿革抄」(p. 23) 一文化年間, 海風堂古松白鷺, 小林権右工門寺子屋開設
『しおじり開校八十周年記念誌』 上田市立塩尻小学校 1989. 1

※「学制公布前の秋和の寺小屋」(p. 80-81) 一大正12年小県郡史, 小県誌を参考
『西塩田小学校百周年記念誌』 上田市立西塩田小学校 1989. 10

※「庶民教育」(p. 142-145) 一寺小屋, 前山, 手塚, 西塩田村内の私塾(大正十年西塩田村史及小
県郡史より抜粋), 西塩田地籍の門弟建立の師匠の碑
『別所学校百年誌』 上田市立別所小学校 1989. 10

※「江戸時代の寺小屋風景」(口絵), 「学校教育のあゆみ」(p. 46) 一江戸時代(寺小屋一覧表含)
『上田市立神科小学校九十年の歩み(開校九十周年記念誌)』 上田市立神科小学校 1989.

11

※「教育関係の人物」(p. 107-111) 一飯田萬平先生, 平井照槌先生, 若林慶謁先生
『東塩田小学校百周年記念誌』 上田市立東塩田小学校 1990. 3

※「学制の公布以前における民間教育」(p. 15-16) 一旧東塩田村にあった寺小屋, 旧富士山村に
あった寺小屋,

『上田東高校百年誌』 長野県上田東高等学校 1991. 9

※「地域の教育」(p. 32-34) 一寺子屋から学校
『かみしな・地域と共に百周年～そして未来へ～(神科小学校開校百周年記念誌1巻)』 上田
市立神科小学校 2000. 4

※「学制以前の庶民教育」(p. 3-6) 一時代のあらまし, 手習師匠の身分, 授業の内容, 教科書, 往来物, 神科の寺子屋と筆塚, 飯田萬平先生, 武井福蔵先生, 茅野儀右衛門先生, 内藤栄左衛門先生, 平林照慥先生

【北佐久郡】

【御代田町】

『御代田小学校のあゆみ』 御代田町立御代田小学校 1977. 2

※「学制発布前後」(p.36)

『伍賀小学校のあゆみ』 御代田町立伍賀小学校 1977. 3

※「寺子屋教育」(p.24)

『御代田北小学校のあゆみ』 御代田町立御代田北小学校 1996. 11

※「御代田北小学校のあゆみ」(p. 9-10)

【北御牧村】

『北御牧小学校開校百周年記念誌』 北御牧村立北御牧小学校 1992. 3

※「北御牧地域の寺子屋」(p.65)

【南佐久郡】

【臼田町】

『臼高八十年誌』 長野県臼田高等学校 1989. 5

※「明治期における南佐久郡の教育」(p.12-13) 一藩校と私塾・寺子屋教育

『切原小学校百二十五年誌』 臼田町立切原小学校 1998. 9

※「両賢紀徳碑に学ぶ(鷹野鴻崖, 周道先生)」(p.13), 「教育舎の創設」(p.43)

【佐久町】

『佐久西小学校八十周年記念誌』 佐久町立佐久西小学校 1993. 10

※「地域教材の資料」(p.140-144) 一高見沢億右衛門の筆塚, 宿岩の筆塚, 上区の筆塚

【八千穂村】

『八千穂南小学校閉校記念誌』 八千穂南小学校閉校記念事業実行委員会 1980. 3

※「穂積教育の源流をたずねて」(p.18-24)

【佐久市】

『開校八十周年記念誌中佐都小学校の歩み』 佐久市立中佐都小学校 1970. 7

※「教育史概要(明治以前)」(p.10-11)

『志賀小学校百年史』 佐久市立志賀小学校 1974. 3

※「志賀教育のあけぼの」(p.52-53) 一寺子屋

『高瀬小学校開校百周年記念誌』 佐久市立高瀬小学校 1975. 3

※「高瀬村の歴史」(p.18-19) 一寺子屋

『野沢小学校百年史』 佐久市立野沢小学校 1976. 3

※「野沢地区の寺子屋」(p.19-23) 一寺子屋師匠の出身・身分, 寺子屋の教育, 史料「寺子屋師匠 屈」(291-293)

『岩村田教育百年』 佐久市立岩村田小学校 1978. 11

※「学制以前の教育」(p.33-36) 一寺子屋・私塾～達道館以前, 私塾寺子屋調べ

『中込小学校百年誌』 佐久市立中込小学校 1980. 10

※「学制発布以前の教育文化」(p. 2-6) 一庶民教育

『開校記念誌・思い出の志賀小学校』 佐久市立志賀小学校 1990. 3

※「志賀小学校沿革概要」(裏表紙) 一享保四年寺小屋創設

[中信]

【北安曇郡】

【池田町】

『池田小学校沿革史』 池田小学校 1983. 6

※「江戸時代末期の池田の教育」(p. 1-23) 一池田の私塾・寺子屋, 池田学問所

【松川村】

『松川小学校百年のあゆみ』 松川村立松川小学校 1981. 12

※「学制までの教育」(p. 3-8) 一松川における私塾・寺子屋

【八坂村】

『八坂第一小学校八坂第二小学校閉校記念誌』 八坂村立八坂第一小学校・第二小学校
1986. 8

※「家塾・寺子屋による八坂教育の夜明け」(p.358-360) 一八坂村家塾・寺子屋取調表

【大町市】

『やしろ』 大町市立社小学校 1975. 2

※「学制以前の教育」(p.207-210) 一社の家塾・寺小屋

『閉校記念誌』 大町市立社小学校 1981. 2

※「社学校発足以前の教育」(p.16-20) 一学制頒布以前の教育(江戸時代一明治五年)

【南安曇郡】

【堀金村】

『堀金小学校百年誌』 堀金村立堀金小学校 1985. 10

※「学校教育の土台となった寺子屋教育」(p. 3-10) 一寺子屋の普及, 寺子屋の教育

【東筑摩郡】

【明科町】

『開校四十周年記念誌あゆみ』 明科町立明北小学校 2001. 3

※「近世の明科町の教育」(p.168-175) 一寺子屋(寺子屋の歴史と数, 寺子屋の就学状況), 筆塚
(大変多い明科町の筆塚, 筆塚建立の歴史と分布, 筆子分布図及び写真)

【波田町】

『波田小学校百年誌』 波田小学校 1988. 11

※「寺子屋の教育」(p. 9-18) 一あらまし, 寺子屋私塾の一覧表, 筆塚, 寺子屋の勉強, 寺子屋・

私塾・筆塚見取図

【四賀村】

『中川小学校百二十周年記念誌』 四賀村立中川小学校 1995. 9

※「寺子屋・家塾の教育」(p.12-18) 一中川の寺子屋・家塾, 寺子屋・家塾の開設, 手習師匠の身分, 寺子・筆子, 授業の内容・教科書, 寺子屋家塾の廃業, 筆塚と門人碑

【坂北村】

『坂北学校百年史』 坂北村立坂北小学校 1974. 11

※「寺子屋と家塾」(p.20-30) 一寺子屋・家塾の開業, 寺子屋の教育, 和算と心学

【麻績村】

『麻績小学校百年史』 麻績村立麻績小学校 1977. 11

※「寺子屋と私塾」(p.17-27)

【坂井村】

『坂井小学校沿革誌』 坂井村立坂井小学校 1987. 4

※「学制以前の教育」(p.16-34) 一寺子屋と家塾

【山形村】

『山形学校史』 山形村立山形小学校 1987. 11

※「小学校開校以前の大池・小坂・竹田の教育」(p.1-18) 一大池・小坂・竹田の道場・私塾・寺子屋, 武芸道場・私塾・寺子屋の開設, 私塾・寺子屋の教育, 史料寺子屋手本

【松本市】

『里山辺小学校誌』 松本市立里山辺小学校 1972. 12

※「習字のひとこま」(p.63-64) (上条義守)

『新村小学校百年誌』 松本市立新村小学校 1973. 3

※「新村地区における学塾と作新学校」(p.23-24)

『和田小学校百年史』 松本市立和田小学校 1973. 3

※「創立前の寺子屋・家塾」(p.27-34) 一学制による近代学校の誕生, 明治の教育事情

『筑摩学校六十年史』 松本市立筑摩小学校 1979. 10

※「地域付近の寺小屋・私塾」(p.4-6)

『島立小学校百年誌』 松本市立島立小学校 1987. 11

※「寺小屋私塾時代」(p.67-74) 一概説, 寺子屋・私塾・師匠名の一覧表, 筆塚と門人碑, 寺子屋での勉強, 島立の寺子屋・私塾跡

『松本市立松本幼稚園百年誌』 松本市立松本幼稚園 1987. 11

※「明治10年以前の松本の教育」(明治維新前に松本地方に培われたもの) (p.19-20)

『松商学園九十周年史』 松商学園 1993. 8

※「近代教育草創期の松本」(p.12-13) 一「学制」の公布前

【塩尻市】

『宗賀小学校百年史』 塩尻市立宗賀小学校 1975. 1

※「学制以前の教育」(p.21-26) 一寺子屋

『片丘学校沿革史』 塩尻市立片丘小学校 1986. 3

※「片丘の寺子屋と家塾」(p.28-36) 一開設と維持, 教授・指導と運営, 寺子屋師匠, 寺子屋の廃業と学制への移行

『洗馬小学校百年誌』 塩尻市立洗馬小学校 1990. 3

※「学制発布以前の洗馬の教育」(p.20)

【木曾郡】

【南木曾町】

『田立小学校沿革誌』 南木曾町立田立小学校 1973. 6

※「田立小学校沿革誌」(p.2-3) 一学校創立以前, 各学校の創立, 「田立小学校開校百年の沿革概要」(p.12)

『読書小学校沿革誌』 南木曾町立読書小学校 1973. 6

※「明治維新前後の教育」(p.13-15) 一寺小屋・私塾の教育, 三留野与川地区の私塾, 遠山家のこと

『蘭小学校沿革誌』 南木曾町立蘭小学校 1973. 6

※「学校創立以前」(p.1-2) 一各学校の創立, 「維新以前の教育」(p.14-15)

【楡川村】

『楡川小学校教育誌』 楡川村立楡川小学校 1977. 6

※「学校沿革概要」(p.11) 一長野県西筑摩郡家塾寺子屋所調表

【王滝村】

『王滝学校百年史』 王滝村 1973. 11

※「学制発布以前の教育」(p.18-20) 一寺子屋教育, 「明治時代前期の教育」(p.20-28) 一学制発布と草創期の王滝学校

【南信】

【諏訪市】

『高島学校百年史』 諏訪市立高島小学校 1973. 11

※「寺子屋の教育」(p.50-63) 一上諏訪の寺子屋, 寺子屋の成立, 寺子屋教育の実際, 寺子屋教育の意義, 上諏訪地区の寺子屋補遺

『湖南小学校百年のあゆみ』 諏訪市立湖南小学校 1974. 7

※「湖南地区における寺小屋教育」(p.23-27) 一伊藤家私塾, 浜家私塾, 矢島家私塾, 伊藤家私塾, 関家私塾

『中洲小学校百年のあゆみ』 諏訪市立中洲小学校 1975. 12

※「維新前に於ける教育」(p.12-15)

【岡谷市】

『川岸小学校百年史』 岡谷市立川岸小学校 1974. 3

※「幕末期の教育」(p. 3-7) 一寺子屋, 藩校, 川岸における寺子屋及び師匠, 川岸村旧寺子屋取調表

『岡谷小学校百年史』 岡谷市立岡谷小学校 1974. 11

※「岡谷の寺子屋, 寺子屋の教育」(p.11-21)

『神明小学校沿革史』 岡谷市立神明小学校 1976. 11

※「寺子屋の教育」(p.32-34)

『田中校五十年の歩み』 岡谷市立田中小学校 1980. 3

※「平野村以前の教育」(p.30-31) 一庶民の教育機関寺子屋, 寺子屋での教育

『岡谷南高校五十年史』 長野県岡谷南高等学校 1993. 8

※「岡谷をめぐる教育環境」(p.30) 一寺子屋の発展

【茅野市】

『開校百周年記念宮川小学校の歩み』 茅野市立宮川小学校 1973. 11

※「明治新教育の土台になった寺子屋」(p.11-20)

『信州金沢学校百年史』 茅野市立金沢小学校 1974. 3

※「寺子屋, 金沢の寺子屋」(p.22-28) 一資料金沢の寺子屋廃業時における調査

『湖東小学校七十年のあゆみ一校舎改築記念一』 茅野市立湖東小学校 1983. 10

※「寺小屋教育のはじまり, ごっさま(手習師匠)と筆塚」(p.15-16)

【上伊那郡】

【高遠町】

『信州高遠学校百年史』 高遠町立高遠小学校 1972. 10

※「私塾・寺子屋」(p.58-59) 一寺子屋師匠一覧表

『長藤学校百年史』 高遠町立長藤小学校 1974. 3

※「寺小屋」(p.10-11) 一寺小屋教育, 教授内容と教科書

【辰野町】

『辰野西小学校沿革誌』 辰野町立辰野西小学校 1989. 10

※「近代以前の庶民教育一寺子屋教育を中心に一」(p.43-59) 一寺子屋教育のあらまし, 小澤惣衛門と松田黄牛(小澤和徳の寺子屋日記の一部), 羽北の寺子屋師匠とその教育, 上島村の寺子屋師匠井内樵夫, 神戸の寺子屋師匠上島基重, 香住寺住職青木宥徹の寺子屋教育, 神官矢島定綱, 上辰野の寺子屋師匠, 矢の花塾の小澤儀右武, 師匠の日記に見る寺子屋教育の実際

【箕輪町】

『箕輪中部小学校百年誌』 箕輪町立箕輪中部小学校 1978. 7

※「学制以前の教育」(p. 6-12) 一幕府と寺子屋, 寺子屋, 中箕輪の寺子屋

『箕輪南小学校百年誌』 箕輪町立箕輪南小学校 1990. 11

※「寺子屋・私塾」(p.39-42) 一庶民の学校として誕生, 箕輪地区寺子屋・私塾の師匠, 寺子屋・私塾の師匠の顕徳碑と碑文, 寺子屋・私塾の教育内容

【飯島町】

『飯島町学校教育百年史』 飯島町立飯島小学校 1969. 11

※「伊那県飯小学所～維新前の教育」(p.28-34) 一寺子屋師匠表, 「三和小校～寺子屋(塾主宮沢磐雄)」(p.80-81)

【南箕輪村】

『南箕輪小学校百年誌』 南箕輪村立南箕輪小学校 1983. 12

※「学制以前の南箕輪村の教育」(p.7-13) 一寺子屋の普及, 村の寺子屋師匠

【長谷村】

『美和小学校沿革誌』 長谷村立美和小学校 1976. 6

※「学校開設以前の教育」(p.80-90) 一美和の寺子屋, 学校ができる前, 美和の家塾・寺子屋

【宮田村】

『宮田小学校百年史』 宮田村立宮田小学校 1972. 10

※「学校設置前の教育」(p.28-29) 一寺小屋

『創立百二十五周年記念誌・想』 宮田村立宮田小学校 1997. 10

※「宮田小学校変遷図」(p.2), 「学校が初めてできたころ」(p.3)

【伊那市】

『伊那小学校百年史』 伊那市立伊那小学校 1971. 10

※「学校設置以前の教育(寺子屋)」(p.41-42)

『東春近小学校沿革誌』 伊那市立東春近小学校 1974. 12

※「学校の創立」(p.11-13) 一寺子屋から学校へ

『新山学校百年史』 伊那市立新山小学校 1976. 4

※「学校創立前の新山の教育」(p.17-18) 一寺子屋の開業, 課業とその手本

『西箕輪学校百年史』 伊那市立西箕輪小学校 1986. 9

※「学校創立前の西箕輪の教育」(p.51-61) 一西箕輪の寺子屋, 寺子屋の教育内容

『富県小学校百年史』 伊那市立富県小学校 1989. 10

※「創立以前の富県の私塾・寺子屋」(p.24-29) 一あらまし, 伊那郡の私塾・寺子屋, 富県の私塾・寺子屋, 私塾・寺子屋の教育内容

『長野県伊那中学校・長野県伊那北高等学校七十年史』 長野県伊那北高等学校 1990. 9

※「上伊那の学統(藩学・寺子屋・郷学校)」(p.2-3)

『伊那西小学校沿革誌一五十年のあゆみ』 伊那市立伊那西小学校 2000. 2

※「伊那西地区の寺子屋」(p.33-35) 一信州と伊那市域の寺子屋普及状況, (寺子屋のおこりと信州の普及状況, 伊那市域の普及状況), 伊那西区の寺子屋師匠(小沢の寺子屋師匠, 平沢の寺子屋師匠, 横山の寺子屋師匠)

【駒ヶ根市】

『赤穂小学校百年史』 駒ヶ根市立赤穂小学校 1972. 10

※「寺子屋時代の赤穂の教育」(p.1-32) 一赤穂の寺子屋と師匠たち, 寺子屋教育の実際

『中澤学校百年誌』 駒ヶ根市立中沢小学校 1972. 10

※「学校創立以前の教育—寺子屋—」(p.23-25) 一寺子屋師匠
『中沢小学校のあゆみ』 駒ヶ根市立中沢小学校 1972. 11

※「学校ができるまで」(p.3-4)

【下伊那郡】

【阿智村】

『会地小学校の百年』 会地小学校 1972. 8

※「学校教育以前」(p.18-25) 一矢沢淳三, 筆塚

【泰阜村】

『泰阜北小学校』 泰阜村立泰阜小学校 1980. 8

※「学校以前の教育」(p.19) 一寺子屋教育, 家塾への就学, 巡回教育

【上村】

『下栗分校誌』 上村立上村小学校下栗分校 1983. 3

※「下栗の寺子屋」(p.4-6) 一概観, 寺子屋

【飯田市】

『上郷小学校沿革史』 飯田市立上郷小学校 1962. 7

※「寺子屋時代(私塾・手習場所時代)」(p.7-15) 一概観, 五か村における寺子屋教育, 館松千足先生

『三穂小中学校沿革史』 飯田市立三穂小学校 1964. 12

※「寺小屋時代(私塾, 手習所)」(p.15-17) 一概観, 三穂地区の寺小屋教育

『座光寺学校沿革史』 飯田市立座光寺小学校 1965. 1

※「学制以前の当村の教育」(p.10-14) 一寺小屋のようす, 座光寺における寺小屋

『松尾学校沿革史』 飯田市立松尾小学校 1975. 9

※「私塾時代—明治5年以前—」(p.43-51) 一松尾享庵塾, 大平塾, 田中塾, 山内塾, 関塾, 寺子屋の教材

『太田学校』 飯田市立太田小学校 1978. 3

※「学校設立時代」(p.6-7) 一寺小屋

『伊賀良小学校百年史』 飯田市立伊賀良小学校 1981. 7

※「寺子屋の時代」(p.11-32) 一寒山禅師を先哲とする伊賀良の寺子屋, 漢籍と手習本でうかがう寺子屋の内容

V. 石造文化財

[長野県全般]

長野県教育委員会『長野県石碑目録・石碑所在調査報告書』 長野県教育委員会 全449頁
1990. 3

[北信]

【下水内郡】

【栄村】

栄村石造文化財調査委員会編『栄村の石造文化財』 栄村教育委員会 1990. 3

※「筆塚」(p.205)

【飯山市】

飯山市石造文化財編集委員会編『飯山市の石造文化財』 飯山市教育委員会 1998. 10

※「筆塚」(p.10) —飯山市域の寺子屋師匠・筆塚一覧, 「筆塚」(p.19)

【上水内郡】

【信州新町】

信州新町文化財調査委員会編『信州新町の石造文化財・信州新町文化財調査報告書No.6』信州新町教育委員会 1989. 3

※「筆塚」(p.168-172) —一覧表

【信濃町】

信濃町文化財保護審議会編『信濃町の石造文化財』 信濃町教育委員会 1988. 3

※「筆塚」(p.61)

【牟礼村】

牟礼村文化財保護委員会編『牟礼村の石造文化財』 牟礼村教育委員会 1988. 8

※「平出地区・筆塚」(p.15), 「豊野地区・筆塚」(p.38), 「牟礼地区・筆塚」(p.63), 「黒川地区・筆塚」(p.93), 「柳町地区・筆塚」(p.130), 「川上地区・筆塚」(p.168), 「志賀地区・筆塚」(p.199)

牟礼村文化財調査委員会・牟礼村誌編さん委員会編『のびゆくむれの里—牟礼村の昔と今—』牟礼村教育委員会 1993. 4

※「大字豊野地区」—青山翁碑(p.21-22)

【中条村】

中条村教育委員会編『中条村の石造文化財』 中条村教育委員会 1988. 3

※「筆塚」(p.160), 「窪田五郎右衛門筆塚」(p.167)

【長野市】

郷土を知る会編『長野市の石造文化』第一集 長野市教育委員会 1978. 12

※「筆塚」(p.243-247) —筆塚一覧表, 筆塚(善光寺境内を含む旧市内11区域)

郷土を知る会編『長野市の石造文化』第二集 長野市教育委員会 1979. 12

※「筆塚」(p.230-233) —筆塚一覧表, 筆塚(浅川, 若槻, 古里, 長沼, 柳原, 朝陽, 大豆島, 芋井, 小田切, 安茂里)

郷土を知る会編『長野市の石造文化』第三集 長野市教育委員会 1980. 12

※「筆塚」(p.223-225) —筆塚一覧表, 筆塚(綿内, 川田, 保科, 犀川, 真島, 青木島, 稲里, 小島田, 川中島, 中津, 御厨, 七二会, 更府, 信田))

郷土を知る会編『長野市の石造文化』第四集 長野市教育委員会 1981. 12

※「筆塚」(p.258) 一筆塚一覧表, 筆塚(篠ノ井, 松代)

信学会民俗資料館編『長野市の筆塚』第一集 信学会 1982. 1

※「旧長野市(昭和29年合併以前)」(p. 1-132) 一中央部1(善光寺関係), 中央部2, 三輪, 吉田, 古牧, 芹田

長野郷土史研究会編『長野市の筆塚』第二集 長野郷土史研究会 1984. 12

※「川北地方旧11ヶ村」(p. 1-134)

塩崎文化財保存会編『塩崎の石造文化財』 塩崎文化財保存会 1988. 3

※「筆塚・助右衛門」(p.97), 「筆塚・星野甚之助」(p.98)

【下高井郡】

【山ノ内町】

山ノ内町文化財調査委員会編『山ノ内町の石造文化財』 山ノ内町教育委員会 1992. 9

※「筆塚」(p.39-40)

木島平村教育委員会編『石碑の香り—文学碑・頌徳碑・記念碑・筆塚—』 木島平村教育委員会 1984. 1

※「筆塚」一渡辺貫斉, 渡辺養斉(p.24) 真淵巖城(p.25), 土屋喜八(p.44), 小林嘉成(p.52), 阿部鸞斉(p.63), 芳沢湖竹(p.110), 宝井義観(p.132)

【野沢温泉村】

野沢温泉村石碑調査委員会編『野沢温泉村の石造文化財』 野沢温泉村教育委員会 1991. 9

※「筆塚」(p.29) 一そろばん塚

【上高井郡】

【小布施町】

小布施町教育委員会編『小布施町の石造文化財』 小布施町教育委員会 1989. 3

※「筆塚」(p.82-84)

【須坂市】

豊洲地域公民館編『平成の写真集ふるさと豊洲—石仏・石神—』 豊洲地域づくり委員会 1996. 12

※「筆塚」(p.52) 一東吉翁の碑, 「筆塚」(p.74) 一源信寺

【更級郡】

【上山田町】

上山田町教育委員会編『上山田町の石造文化財』 上山田町教育委員会 1985. 3

※「八坂地区筆塚」(p.11), 「一覧表」(p.40-41)

【埴科郡】

【坂城町】

坂城町教育委員会編『坂城のいしぶみ』 坂城町教育委員会 全128頁 1991. 3

※「筆塚」(23基) 一西沢仁兵衛の筆塚(p. 2), 山極高明の筆塚(p.16), 宮島万弥の筆塚(p.19), 三井勇八(p.21), 梅窓智芳の筆塚(p.22) 他 計23基

坂城町石造文化財調査委員会編『坂城の石造文化財』 坂城町教育委員会 1996. 3

※「学問と詩歌の神様」—お天神さん、天満宮 (p.200-201)

【更埴市】

写真集千曲川のほとり刊行会編『写真集千曲川のほとり』 写真集千曲川のほとり刊行会
1999. 8

※「日下部源右衛門の墓」(p. 1), 「小林啓右衛門の筆塚」(p. 2)

[東信]

【小県郡】

【東部町】

東部町編『東部町の石造文化財』 東部町教育委員会 1983. 5

※「筆塚」(p.106-111)

[中信]

【北安曇郡】

【池田町】

池田町文化財保護委員会編『池田町石造文化財』 池田町教育委員会 1986. 3

※「筆塚」(p.46) —一覧表

【小谷村】

小谷村教育委員会編『小谷の石造文化財』 小谷村教育委員会 1982. 3

※「筆塚」(p.313-315) —北小谷の筆塚, 中土の筆塚, 南小谷の筆塚

【南安曇郡】

【穂高町】

穂高町石造文化財編纂委員会編『穂高町の石造文化財・解説資料編』 穂高町教育委員会
1994. 8

※「筆塚」(p.93-95)

【三郷村】

三郷村教育委員会編『三郷村の碑文—筆塚・記念碑・文学碑—』 三郷村教育委員会 1988.
3

※「筆塚」(計38基) (p. 9-56) —箕浦忠五右衛門筆塚他

【東筑摩郡】

【明科町】

明科町史編さん会編『明科の石造文化財』 明科町史編さん会 1981. 3

※「筆塚・頌徳碑」(p.327~329)

【波田町】

波田町教育委員会編『波田町の文化財』 波田町の石造文化財編 波田町 1979. 2

※「記念碑・頌徳碑」一中村翁の筆塚 (p.63)

【四賀村】

四賀村石造文化財編集委員会編『四賀村の石造文化財』 四賀村石造文化財誌刊行会 1992.

6

※「筆塚」(p.399)

【麻績村】

※「筆塚」(p.149-150)

【坂井村】

坂井村石造文化財編集委員会編『坂井村石造文化財』 坂井村石造文化財編集委員会 1996.

3

※「筆塚」(p.192)

【松本市】

松本市社会教育課編『松本市の石造文化財・第二部解説編』 松本市教育委員会 1979. 3

※「筆塚」(p.124-127) (神沢昌二郎)

[南信]

【諏訪郡】

【下諏訪町】

下諏訪町教育委員会編『下諏訪町石造文化財・其二石に刻まれた町びとのこころ』 下諏訪町教育委員会 1978. 2

※「筆塚」(p.8) 一武居薬師堂, 高木岩本家墓, 「その他」(p.96, 99-100) 一筆塚

【伊那市】

伊那市文化財審議委員会編『伊那市石造文化財』 伊那市教育委員会 1982. 11

※「紀功・頌徳碑」(p.78)

Ⅵ. 雑誌論文

【 ～1911. 12】(～明治44年12月)

高島平三郎「往昔寺小屋教育ト今日ノ小学教育ノ差異」(『信濃教育』133号, p.4-5, 1897. 10)

北村包直「信濃ノ歴史, 信濃ノ普通教育, 歴史ノ価値, 歴史教授, 歴史教授ト和歌」(『信濃教育』172号, p.1-6, 1901. 1)

【1912. 1～1925. 12】(大正元年1月～大正14年12月)

小坂橋藤作「往来物につきて」(『信濃教育』316号, p.7-8, 1913. 2)

小坂橋藤作「往来物につきて」(『信濃教育』318号, p.8-10, 1913. 4)

小坂橋藤作「往来物につきて(続)」(『信濃教育』319号, p.7-10, 1913. 5)

- 小板橋藤作「往来物につきて（承前）」（『信濃教育』321号，p.17-21，1913. 7）
赤沼満次郎「寺島宗伴翁の和算上の研究（一）」（『信州教育』327号，p.22-25，1914. 1）
赤沼満次郎「寺島宗伴翁の和算上の研究（二）」（『信州教育』328号，p.11-12，1914. 2）
坂井衡平「右記に見えたる寺院教育」（『信濃教育』334号，p.41-46，1914. 8）
渡辺敏「学制頒布に因り勃興したる当時の信州教育」（『信州教育』340号，p.17-20，1915. 2）
春日賢一「信州に於ける寺子屋の教育」（『信濃教育』370号，p.69-72，1917. 8）
赤沼満次郎「信濃の和算家」（『信濃教育』375号，p.37-40，1918. 1）

【1926. 1～1945. 12】（昭和元年1月～昭和20年12月）

- 留岡清男「信濃教育史(1)」（『教育』1巻3号，岩波書店，p.114-123，1933. 6）
三上義夫「信州の数学(1)」（『信濃』I-3巻10号，p.3-7，1934. 10）
三上義夫「信州の数学(2)」（『信濃』I-3巻11号，p.3-7，1934. 11）
三上義夫「信州の数学(3)」（『信濃』I-3巻12号，p.12-13，1934. 12）
小杉巖「心学教化に於ける儒教の一意義」（『信濃教育』579号，p.42-45，1935. 1）
三上義夫「信州の数学(4)」（『信濃』I-4巻1号，p.14-17，1935. 1）
三上義夫「信州の数学(5)」（『信濃』I-4巻2号，p.24-29，1935. 2）
三上義夫「小県・佐久の数学」（『信濃』I-4巻4号，p.6-11，1935. 4）
三上義夫「小県・佐久の数学(2)」（『信濃』I-4巻5号，p.6-8，1935. 5）
三上義夫「小県・佐久の数学(3)」（『信濃』I-4巻6号，p.24-27，1935. 6）
三上義夫「小県・佐久の数学(4)」（『信濃』I-4巻9号，p.3-7，1935. 9）
三上義夫「小県・佐久の数学(5)」（『信濃』I-4巻11号，p.10-13，1935. 11）
三上義夫「小県・佐久の数学(6)」（『信濃』I-4巻12号，p.6-10，1935. 12）
三上義夫「小県・佐久の数学(7)」（『信濃』I-5巻1号，p.14-19，1936. 1）
三上義夫「須坂藩の数学(1)」（『信濃』I-5巻2号，p.12-15，1936. 2）
三上義夫「須坂藩の数学(2)」（『信濃』I-5巻3号，p.19-11，1936. 3）
三上義夫「鬼無里の算家寺島宗伴(1)」（『信濃』I-5巻5号，p.3-7，1936. 5）
三上義夫「鬼無里の算家寺島宗伴(2)」（『信濃』I-5巻6号，p.3-7，1936. 6）
三上義夫「鬼無里の算家寺島宗伴(3)」（『信濃』I-5巻7号，p.20-24，1936. 7）
三上義夫「信濃の数学家富田凸斎」（『信濃』I-5巻8号，p.6-8，1936. 8）
三上義夫「信州の数学，入弥左衛門貞堂伝(1)」（『信濃』I-5巻11号，p.6-9，1936. 11）
牛山秀樹「信濃への出雲文化移入の経路」（『信濃教育』602号，p.34-44，1936. 12）
三上義夫「信州の数学，入弥左衛門貞堂伝(2)」（『信濃』I-5巻12号，p.18-23，1936. 12）
松野新兵衛「明治初年の教育状態」（『信濃教育』604号，p.73-84，1937. 2）
三上義夫「善光寺から川中島地方の宮城流数学の拡布と其後の変遷(1)」（『信濃』I-6巻4号，p.18-21，1937. 4）

- 三上義夫「善光寺から川中島地方の宮城流数学の拡布と其後の変遷(2)」(『信濃』Ⅰ—6巻5号, p.28-31, 1937. 5)
- 三上義夫「善光寺から川中島地方の宮城流数学の拡布と其後の変遷(3)」(『信濃』Ⅰ—6巻6号, p. 3-7, 1937. 6)
- 白鳥生「澹斎先生のこと」(『信濃』Ⅰ—6巻8号, p.30-32, 1937. 8)
- 三上義夫「善光寺から川中島地方の宮城流数学の拡布と其後の変遷(4)」(『信濃』Ⅰ—6巻8号, p. 3-7, 1937. 8)
- 三上義夫「善光寺から川中島地方の宮城流数学の拡布と其後の変遷(5)」(『信濃』Ⅰ—6巻10号, p.21-24, 1937. 10)
- 三上義夫「善光寺から川中島地方の宮城流数学の拡布と其後の変遷(6)」(『信濃』Ⅰ—6巻11号, p. 8-11, 1937. 11)
- 三上義夫「善光寺から川中島地方の宮城流数学の拡布と其後の変遷(7)」(『信濃』Ⅰ—6巻12号, p.28-32, 1937. 12)
- 三上義夫「善光寺から川中島地方の宮城流数学の拡布と其後の変遷(8)」(『信濃』Ⅰ—7巻1号, p.13-17, 1938. 1)
- 大井伝重「天保時代佐久の一農村に於ける数学—北佐久郡高瀬村岩尾—」(『信濃』Ⅰ—7巻2号, p.34, 1938. 2)
- 三上義夫「善光寺から川中島地方の宮城流数学の拡布と其後の変遷(9)」(『信濃』Ⅰ—7巻2号, p.20-22, 1938. 2)
- 石川謙「石門心学と現代の教育」(『信濃教育』639号, p.21-36, 1937. 1940. 1)
- 石川謙「郷村組織と江戸時代の庶民教育」(『信濃教育』655号, p.3-20, 1941. 5)
- 小杉巖「信州における教育機関の発達」(『信濃教育』645号, p.19-32, 1940. 7)
- 小杉巖「信州における教育機関の発達」(『信濃教育』646号, p.16-30, 1940. 8)
- 赤羽千鶴「和算の示唆するもの」(『信濃教育』665号, p.52-67, 1942. 3)

【1946. 1～1955. 12】(昭和21年1月～昭和30年12月)

- 赤羽千鶴「信濃の和算(1)」(『信濃』Ⅲ—1巻3号, p.38-43, 1949. 7)
- 赤羽千鶴「信濃の和算(2)」(『信濃』Ⅲ—1巻4号, p.38-41, 1949. 8)
- 赤羽千鶴「信濃の和算(3)」(『信濃』Ⅲ—1巻5号, p.32-40, 1949. 9)
- 赤羽千鶴「信濃の和算(4)」(『信濃』Ⅲ—1巻6号, p.37-46, 1949. 10)
- 赤羽千鶴「信濃の和算(5)」(『信濃』Ⅲ—1巻7号, p.14-21, 1949. 11)
- 赤羽千鶴「信濃の和算(6)」(『信濃』Ⅲ—1巻8号, p.40-49, 1949. 12)
- 赤羽千鶴「信濃の和算(7)」(『信濃』Ⅲ—2巻1号, p.24-32, 1950. 1)
- 赤羽千鶴「信濃の和算(8)」(『信濃』Ⅲ—2巻2号, p.45-53, 1950. 2)
- 赤羽千鶴「信濃の和算(9)」(『信濃』Ⅲ—2巻3号, p.19-20, 1950. 3)
- 赤羽千鶴「信濃の和算(10)」(『信濃』Ⅲ—2巻5号, p.21-50, 1950. 5)

- 赤羽千鶴「信濃の和算(11)」(『信濃』Ⅲ—2巻8号, p.24-31, 1950. 8)
赤羽千鶴「信濃の和算(12)」(『信濃』Ⅲ—2巻10号, p.42-48, 1950. 10)
赤羽千鶴「信濃の和算(13)」(『信濃』Ⅲ—3巻4号, p.33-40, 1951. 4)
赤羽千鶴「信濃の和算(14)」(『信濃』Ⅲ—3巻5号, p.18-24, 1951. 5)
赤羽千鶴「信濃の和算(15)」(『信濃』Ⅲ—3巻8号, p.34-38, 1951. 8)
赤羽千鶴「藩士の和算家と庶民の和算家」(『信濃教育』815号, p.33-39, 1954. 11)
関島久雄「関島松泉」(『伊那』328号, p.32-33, 1955. 9)

【1956. 1～1965. 12】(昭和31年1月～昭和40年12月)

- 岩崎長思「江戸時代の佐久の文教(上)」(『佐久』4号, p.1-3, 1956. 2)
岩崎長思「江戸時代の佐久の文教(中)」(『佐久』5号, p.1-6, 1956. 5)
岩崎長思「江戸時代の佐久の文教(下の上)」(『佐久』6号, p.1-9, 1956. 10)
岩崎長思「江戸時代の佐久の文教(四)」(『佐久』7号, p.1-3, 1957. 7)
岩崎長思「江戸時代の佐久の文教(五)」(『佐久』8号, p.1-7, 1958. 5)
遠藤一雄「下伊那における国学発展の系譜(上)」(『信濃教育』925号, p.62-68, 1963. 12)
弾塚邦武「福島の子屋と学校」(『伊那路』9巻2号, p.25-30, 1965. 2)
北原忠寧「明治初期における学校建築の経緯—赤律学校の事例—」(『伊那路』9巻5号, p.1-6, 1965. 5)

【1966. 1～1975. 12】(昭和41年1月～昭和50年12月)

- 丸山堯・小林計一郎「善光寺町の寺子屋手本」(『長野』9号, p.8-15, 1966. 7)
高見沢領一郎「筆塚を中心とした庶民教育の状態—南佐久郡の場合—」(『信州大学教育学部紀要』18号, p.1-16, 1968. 3)
宮川清治「東筑摩の寺子屋師匠と筆塚」(『信濃教育』979号, p.34-42, 1968. 6)
高見沢領一郎「筆塚に関する研究—上水内郡の場合・第一部(西部地区)」(『信州大学教育学部紀要』20号, p.19-45, 1969. 3)
高見沢領一郎「筆塚に館する研究—上水内郡の場合・第二部(北国街道筋)」(『信州大学教育学部紀要』21号, p.25-54, 1969. 10)
高見沢領一郎「筆塚に関する研究—長野県上高井郡の場合—」(『信州大学教育学部紀要』23号, p.21-43, 1970. 10)
高見沢領一郎「筆塚に関する研究・長野県更級郡(旧)の場合・資料編」(『信州大学教育学部紀要』26号, p.7-43, 1971. 3)
高見沢領一郎「筆塚に関する研究—長野県更級郡(旧)の場合・資料編」(『信州大学教育学部紀要』26号, p.7-43, 1972. 3)
中村一雄「教育史編集雑記(上)」(『長野』41号, p.7-12, 1972. 1)
中村一雄「教育史編集雑記(下)」(『長野』42号, p.33-39, 1972. 3)

- 下平加賀雄「開智学校と筑摩県下」(『伊那』20巻5号, p.28-33, 1972. 5)
- 湯本豊佐太「石門心学明孝舎に関する覚え書」(『高井』23号, p. 1-14, 1972. 12)
- 高見沢領一郎「筆塚に関する研究・長野県埴科郡(旧)下松代地区・資料篇」(『信州大学教育学部紀要』29号, p. 1-22, 1973. 11)
- 依田康資「寺子屋経営の実態」(『長野』53号, p.51-56, 1974. 1)
- 中島文雄「竜丘村の寺子屋教育」(『伊那』22巻11号, p.31-38, 1974. 11)
- 中島文雄「竜丘村の寺子屋教育(二)」(『伊那』22巻12号, p.27-30, 1974. 12)
- 【1976. 1~1980. 12】(昭和51年1月~昭和60年12月)
- 小林重章「地域における実学形成と洋学の移入―幕末・明治初年の長野県における教育の実態に即して―」(『教育学研究』43巻4号, 日本教育学会, p.26-35, 1976. 12)
- 藤森明「寺子屋調査の一資料―普及にはたした農民の役割―」(『茅野』3号, 茅野市郷土研究会, p.26, 1977. 2)
- 林登美人「筑摩県下の学校設立推移」(『伊那』25巻8号, p.11-19, 1977. 8)
- 林登美人「筑摩県下の学校設立推移二」(『伊那』25巻9号, p.10-18, 1977. 9)
- 林登美人「筑摩県下の学校設立推移三」(『伊那』25巻10号, p.15-22, 1977. 10)
- 梅村佳代「下伊那の寺子屋について」(『伊那』26巻4号, p.33-39, 1978. 4)
- 井原一夫「和算家田中多賀吉」(『郷土史巡礼』77号, p. 5-9, 1978. 5)
- 湯本豊佐太「石門心学教倫社に関する覚え書(一)」(『高井』46号, p. 1-12, 1979. 1)
- 梅村佳代「幕末期一寺子屋の分析―下伊那飯田町宮下敬助・敬三寺子屋を事例として―」(『伊那』27巻5号, p.22-28, 1979. 5)
- 梅村佳代「幕末期一寺子屋の分析二」(『伊那』27巻6号, p.32-37, 1979. 6)
- 長瀬康明「入野谷の寺子屋様相」(『伊那路』23巻9号, p.19-21, 1979. 9)
- 湯本豊佐太「石門心学教倫社に関する覚え書(二)」(『高井』51号, p.10-25, 1980. 4)
- 中村一雄「長野町の学校の始まり」(『長野』91号, p.18-26, 1980. 5)
- 原隆夫「寺子屋のきまり」(『郷土史巡礼』103号, p. 4-9, 1980. 7)
- 赤羽千鶴「信濃国小諸の和算家小林忠良」(『信濃』Ⅲ-33巻5号, p.21-38, 1981. 5)
- 矢島誠「『女大学』管見」(『長野』102号, p.35-37, 1982. 3)
- 原隆夫「筆塚『露考墓』と寺子屋」(『郷土史巡礼』129号, p. 8-15, 1982. 9)
- 小林計一郎「近世農民の識字率」(『長野』107号, p. 1-5, 1983. 1)
- 市川真文「江戸後半期の読み方指導における機能分担について―信濃国の寺子屋の場合―」(全国大学国語教育学会『国語科教育』30号, 学芸図書, p.57-63, 1983. 3)
- 中村一雄「戸倉町の教育の昔」(『とぐら』9号, p.4-12, 1983. 12)
- 畦上悦似「和算の中の算額について」(『須高』18号, p.107-114, 1984. 3)
- 矢野口佳郎「三郷村の文学碑(9)岩本正誼筆塚の句」(『三郷文化』9号, p. 2, 1984. 7)
- 長野郷土研究会「江戸時代の信濃の文化」(『長野』119号, p.157-163, 1985. 1)

鶴岡一雄「諏訪の算額（上）」（『オール諏訪』24号, p.40-43, 1985. 2）

鶴岡一雄「諏訪の算額（下）」（『オール諏訪』26号, p.60-62, 1985. 6）

小林朗「筆塚覚え書」（『長野』122号, p.77-80, 1985. 7）

【1986. 1～1995. 12】（昭和60年1月～平成3年12月）

小松芳郎「明治の生活—学校・子守・製糸工場」（『伊那路』30巻1号, p.14-19, 1986. 1）

矢野口佳郎「三郷村の文学碑(5)池上可杖の筆塚」（『三郷文化』15号, p. 2, 1986. 1）

関島久雄「百花園蔵書目録（一）」（『伊那』34巻9号, p.41-44, 1986. 9）

関島久雄「百花園蔵書目録（二）」（『伊那』35巻4号, p.44-47, 1987. 4）

矢野口佳郎「三郷村の筆塚(1)中野宇蕙の碑」（『三郷文化』21号, p. 2, 1987. 7）

矢野口佳郎「中野宇蕙の碑」（『三郷文化』21号, p.21, 1987. 7）

矢野口佳郎「三郷村の筆塚(2)小穴槍岳の碑」（『三郷文化』22号, p. 2, 1987. 10）

矢野口佳郎「小穴槍岳の碑の解説」（『三郷文化』22号, p.59, 1987. 10）

矢野口佳郎「三郷村の筆塚(3)務台伴語の碑」（『三郷文化』23号, p. 2, 1988. 1）

矢野口佳郎「務台伴語筆塚の解説」（『三郷文化』23号, p.23, 1988. 1）

矢野口佳郎「三郷村の筆塚(4)稲苅昇平筆塚」（『三郷文化』24号, p. 2, 1988. 4）

矢野口佳郎「稲苅昇平筆塚の解説」（『三郷文化』24号, p.52-53, 1988. 4）

矢野口佳郎「三郷村の筆塚(5)飯田宗榮筆塚」（『三郷文化』25号, p. 2, 1988. 7）

矢野口佳郎「飯田宗榮筆塚の解説」（『三郷文化』25号, p.53, 1988. 7）

矢野口佳郎「三郷村の筆塚(6)降旗吉十筆塚」（『三郷文化』26号, p. 2, 1988. 10）

矢野口佳郎「降旗吉十筆塚の解説」（『三郷文化』26号, p.54, 1988. 10）

田川幸生「明治の『学制』に対して私塾・寺子屋のはたした役割（一）—中野地方の資料をもとにして—」（『高井』86号, p. 1-14, 1989. 1）

矢野口佳郎「三郷村の筆塚(7)日比野允敬筆塚」（『三郷文化』27号, p. 2, 1989. 1）

矢野口佳郎「日比野允敬筆塚の解説」（『三郷文化』27号, p.49, 1989. 1）

武藤孝典「研究ノート信州教育史概説」（『信濃教育会教育研究所研究年報』2巻, 信濃教育会教育研究所, p.55-59, 1989. 3）

田川幸生「明治の『学制』に対して私塾・寺子屋のはたした役割（二）—中野地方の資料をもとにして—」（『高井』87号, p.27-36, 1989. 4）

矢野口佳郎「三郷村の筆塚(8)布山瑞枝筆塚」（『三郷文化』28号, p. 2, 1989. 4）

矢野口佳郎「三郷村の筆塚(9)相馬古處筆塚」（『三郷文化』29号, p. 2, 1989. 7）

矢野口佳郎「相馬古處筆塚について」（『三郷文化』29号, p.50-51, 1989. 7）

矢野口佳郎「三郷村の筆塚(10)降旗篁岳筆塚」（『三郷文化』30号, p. 2, 1989. 10）

矢野口佳郎「筆塚解説降旗篁岳について」（『三郷文化』30号, p.51, 1989. 10）

田川幸生「明治の『学制』に対して私塾・寺子屋のはたした役割（三）—中野地方の資料をもとにして—」（『高井』89号, p.10-25, 1989. 11）

- 金井圓「草莽の画家金井蟻村についての覚書—松本平手習師匠『金井忠藏』考—」(『信濃』41巻12号, 信濃史学会, p.12-23, 1989. 12)
- 矢野口佳郎「三郷村の筆塚(11)實相院法悦晃居士墓碑」(『三郷文化』31号, p. 2, 1990. 1)
- 青木美智雄「近世の文字社会と村落での文字教育をめぐって—『長野県史』通史編近世と網野善彦の近業に刺激されて—」(『信濃』42巻2号, 信濃史学会, p. 1-16, 1990. 2)
- 田川幸生「明治の『学制』に対して私塾・寺子屋のはたした役割(四)—中野地方の資料をもとにして—」(『高井』90号, p.15-24, 1990. 2)
- 矢野口佳郎「三郷村の筆塚(12)増田雄進筆塚」(『三郷文化』32号, p. 2, 1990. 5)
- 矢野口佳郎「三郷村の筆塚(13)宮坂市郎次筆塚」(『三郷文化』33号, p. 2, 1990. 7)
- 矢野口佳郎「三郷村の筆塚(14)降旗多数の筆塚」(『三郷文化』34号, p. 2, 1990. 10)
- 川村肇「信州伊那郡の私塾・手習塾・郷学—民衆の郷学受容の視点から—」(『信濃』42巻12号, 信濃史学会, p. 1-16, 1990. 12)
- 矢野口佳郎「三郷村の筆塚(15)増田彌次右衛門の筆塚」(『三郷文化』35号, p. 2, 1991. 1)
- 林登美人「下伊那の寺子屋—藩学・私塾・寺子屋普及調査の歩み—」(『伊那』39巻5号, p. 3-13, 1991. 5)
- 林登美人「下伊那の寺子屋Ⅱ・下伊那における寺子屋の分布」(『伊那』39巻7号, p.41-47, 1991. 7)
- 林登美人「下伊那の寺子屋Ⅱ(続)・下伊那における寺子屋の分布」(『伊那』39巻9号, p.49-55, 1991. 9)
- 木下秋彦「下伊那の寺子屋Ⅲ・下伊那における私塾・寺子屋の開設」(『伊那』39巻10号, p.10-18, 1991. 10)
- 石川正臣「下伊那の寺子屋Ⅳ・城下町飯田の宮下塾」(『伊那』39巻12号, p.17-25, 1991. 12)
- 石川正臣「下伊那の寺子屋Ⅴ・城下町飯田の宮下塾」(『伊那』40巻2号, p.33-41, 1992. 2)
- 川村肇「名古屋遊学時代の松尾享庵—漢詩にみられる成長過程—」(『信濃』44巻5号, 1992. 5)
- 矢野口佳郎「三郷村の碑文(五)飯沼覚兵衛御情竿の碑」(『三郷文化』40号, p. 2, 1992. 5)
- 林正直「下伊那の寺子屋Ⅵ・北部農村の寺子屋—神稻村田村新井敷—(上)」(『伊那』40巻5号, p.21-27, 1992. 5)
- 林正直「下伊那の寺子屋Ⅵ・北部農村の寺子屋—神稻村田村新井敷—(下)」(『伊那』40巻7号, p.22-30, 1992. 7)
- 矢野口佳郎「三郷村の碑文(六)龍海先生塚」(『三郷文化』41号, p. 2, 1992. 7)
- 翠川渡「『信濃往来』解説」(『上田盆地』31号, p.53-62, 1992. 8)
- 藤田隆美「下伊那の寺子屋Ⅵ・束脩謝儀からみた下伊那の寺子屋教育」(『伊那』40巻9号, p. 17-25, 1992. 9)
- 藤田隆美「下伊那の寺子屋Ⅵ・束脩謝儀からみた下伊那の寺子屋教育(続き)」(『伊那』40巻10号, p.17-22, 1992. 10)

- 清水総明「和算家寺島宗伴」(『文化財信濃』19巻3号, p.28-31, 1992. 12)
- 田中磐「松本地方の女兒の盆々(ぼんぼん)の行事」(『信濃』45巻7号, 1993. 7)
- 林登美人「下伊那の寺子屋Ⅶ・学制頒布と寺子屋の閉鎖」(『伊那』41巻7号, p.33-40, 1993. 7)
- 片桐億「下伊那の寺子屋Ⅷ・記録保存されている教科書類」(『伊那』41巻9号, p.32-40, 1993. 9)
- 片桐億「下伊那の寺子屋Ⅷ・記録保存されている教科書類(2)」(『伊那』41巻11号, p.47-54, 1993. 11)
- 北澤武「市岡源九郎忠智, 佐蔵智寛の学んだ和算(一)―市岡家の文書から―」(『伊那』42巻5号, p.34-40, 1994. 5)
- 片桐億「下伊那の寺子屋Ⅷ・記録保存されている教科書類(3)」(『伊那』42巻7号, p.38-46, 1994. 7)
- 林登美人「下伊那の寺子屋Ⅸ・飯田・下伊那の家塾と私塾」(『伊那』42巻8号, p.13-19, 1994. 8)
- 北澤武「市岡源九郎忠智, 佐蔵智寛の学んだ和算(二)―市岡家の文書から―」(『伊那』42巻9号, p.26-33, 1994. 9)
- 林登美人「下伊那の寺子屋Ⅸ・飯田・下伊那の家塾と私塾」(『伊那』42巻9号, p.15-25, 1994. 9)
- 木下秋彦「下伊那の寺子屋Ⅹ・飯田近郊農村竜丘地区の寺子屋(一)」(『伊那』42巻11号, p.19-28, 1994. 11)
- 木下秋彦「下伊那の寺子屋Ⅹ・飯田近郊農村竜丘地区の寺子屋(二)」(『伊那』42巻12号, p.16-23, 1994. 12)
- 木下秋彦「下伊那の寺子屋Ⅹ・飯田近郊農村竜丘地区の寺子屋(三)」(『伊那』43巻2号, p.25-33, 1995. 2)
- 坂口俊雄「幕末明治時代の漢方医・寺子屋師匠山崎謙蔵先生」(『ちょうま』15号, 48-52, 1995. 1)
- 堀口暉巳「謙蔵宛常山の書状と鴻山の漢詩」(『ちょうま』15号, 53-57, 1995. 1)
- 中村一雄「戸倉・五加・更級村発足前の小学校―現戸倉町・明治二十二年町村制施行以前―」(『とぐら』20号, 戸倉史談会, p.1-49, 1995. 2)
- 林登美人「下伊那の寺子屋Ⅺ・寺子屋の行事」(『伊那』43巻3号, p.40-51, 1995. 3)
- 林登美人「下伊那の寺子屋Ⅺ・寺子屋の行事(2)」(『伊那』43巻3号, p.40-51, 1995. 3)
- 野村知男「『日本教育史資料』掲載の『寺子屋表』の研究(2)―長野県・岐阜県編―」(『教育論叢』7巻1号, 近畿大学教職教育部, p.41-64, 1995. 7)
- 林登美人「下伊那の寺子屋Ⅺ・寺子屋の行事(3)」(『伊那』43巻8号, p.20-27, 1995. 8)
- 尾崎行也「幕末期村方寺子屋師匠買物『覚』考―信濃国上田領内の一例―」(『信濃』47巻8号, 信濃史学会, p.49-32, 1995. 8)
- 北澤伴康「筆塚雑感」(『上田盆地』34号, p.30-34, 1995. 9)

- 林正直「下伊那の寺子屋Ⅻ・下清内路の特異な天神祭」(『伊那』43巻11号, p.15-25, 1995. 11)
- 翠川渡「寺子屋の教科書—『庭訓往来』について—」(『佐久』16号, p.30-37, 1995. 11)
- 【1996. 1～2001. 1】(平成4年1月～平成13年1月)
- 半田照彦「森村の寺子屋師匠・文筆に勝れた中条唯七郎について」(『ちょうま』16号, 更埴郷土を知る会, 13-16, 1996. 1)
- 高原正文「近世筑摩郡北栗林村の村落景観と生活」(『信濃』48巻3号, 1996. 3)
- 林登美人「下伊那の寺子屋Ⅻ・寺子屋における式目と塾則」(『伊那』44巻3号, p.42-50, 1996. 3)
- 林登美人「下伊那の寺子屋Ⅻ・多様な寺子屋教育の実態」(『伊那』44巻4号, p.38-48, 1996. 4)
- 林登美人「下伊那の寺子屋Ⅻ・多様な寺子屋教育の実態」(『伊那』44巻5号, p.30-38, 1996. 5)
- 片桐億「下伊那の寺子屋Ⅻ・保存されている女子用教本とその考察」(『伊那』44巻7号, p.19-32, 1996. 7)
- 北澤武「田舎野夫田中在政の学んだ和算(二)」(『伊那』44巻7号, p.10-19, 1996. 7)
- 片桐億「下伊那の寺子屋Ⅻ・教本からみた男女の違い(一)」(『伊那』44巻9号, p.6-13, 1996. 9)
- 青木歳幸「江戸時代の庶民文化の諸相—上小地区を中心に—」(『千曲』91号, 東信史学会, p.1-8, 1996. 10)
- 田川幸生「筆子と生徒による筆塚—高井郡更科村武田櫻谷の場合—」(『高井』107号, p.1-12, 1996. 11)
- 田川幸生「櫻谷師匠の手習手本について」(『高井』118号, p.13-23, 1997. 2)
- 駒津武茂「須坂藩の藩学と私塾」(『須高』44号, p.56-64, 1997. 4)
- 田川幸生「櫻谷師匠の書いた石碑と額面について」(『高井』119号, p.14-25, 1997. 4)
- 片桐億「下伊那の寺子屋Ⅻ・教本からみた男女の違い(二)」(『伊那』45巻6号, p.29-38, 1997. 6)
- 田川幸生「吐月庵櫻谷の俳諧活動と傳系」(『高井』120号, p.33-50, 1997. 8)
- 野村恵智雄「信州への和算の伝来(一)」(『長野』194号, p.16-26, 1997. 9)
- 北澤武「下伊那の和算(一)—二冊の塵劫記—」(『伊那』45巻10号, p.38-49, 1997. 10)
- 北澤武「下伊那の和算(二) 元善光寺の算額・中島範武の算術書」(『伊那』45巻11号, p.3-12, 1997. 11)
- 石川正臣「下伊那の寺子屋Ⅻ・手習い用法帖からみた男女のちがい(三)」(『伊那』46巻2号, p.16-27, 1998. 2)
- 田川幸生「寺子屋師匠・俳諧師匠武田櫻谷の江戸とのかかわり」(『高井』122号, p.26-39, 1998. 2)

- 宮川清治「松本市域の寺子屋師匠・筆塚・規定」(『松本市史研究』8号, 松本市役所, p. 8-19, 1998. 3)
- 田川幸生「寺子屋師匠・俳諧師武田櫻谷の調査終稿」(『高井』123号, p.18-35, 1998. 4)
- 小須田盛鳳「石造物講座第十八回一筆塚一」(『佐久』24号, 佐久史学会, p.68-70, 1998. 6)
- 北澤武「下伊那の和算(四)」(『伊那』46巻6号, p. 9-20, 1998. 6)
- 石川正臣「下伊那の寺子屋Ⅷ・飯田の藩学」(『伊那』46巻8号, p.10-17, 1998. 8)
- 西澤敏昭「筆子塚調査報告一長野県茅野市笹原一」(『奈良教育史研究』5号, 奈良教育大学学校教育講座, p.41-50, 1999. 10)
- 野村恵智雄「信州への和算の伝来(二)」(『長野』197号, p.12-15, 1998. 10)
- 野村恵智雄「信州への和算の伝来」(『長野』198号, p.18-24, 1998. 11)
- 浜森十「石盤の頃(一)」(『オール諏訪』172号, p.10-19, 1999. 1)
- 浜森十「石盤の頃(二)」(『オール諏訪』173号, p.20-28, 1999. 2)
- 浜森十「石盤の頃(三)」(『オール諏訪』174号, p.10-18, 1999. 3)
- 浜森十「石盤の頃(四)」(『オール諏訪』175号, p.10-19, 1999. 4)
- 太田秀保「城下町の子どもたち研究序説一日記等記録からみた子どもたちの存在状況一」(『信濃』51巻5号, 1999. 5)
- 浜森十「石盤の頃(五)」(『オール諏訪』176号, p.10-17, 1999. 5)
- 翠川渡「信州近世の女子教育」(『長野』205号, p.49-53, 1999. 5)
- 石川正臣「下伊那の寺子屋Ⅷ・飯田の藩学」(『伊那』47巻6号, p.3-11, 1999. 6)
- 翠川渡「女子向けの手習手本一御祐筆家の場合一」(『佐久』27号, 佐久史学会, p.24-28, 1999. 6)
- 伊藤栄一「現代に甦る算額の魂」(『伊那』47巻9号, p.35-39, 1999. 9)
- 太田秀保「五人組改帳からみた城下町の子どもたち一信濃国筑摩郡松本町五人組改帳の分析一」(『信濃』51巻9号, 1999. 9)
- 山岸哲雄「幻の寺永隆寺(塩川町)一寺址と和算絵馬一」(『須高』49号, p.59-62, 1999. 10)
- 市川真文「明治期初等の国語科教育課程の形成一長野県下の郷学校を中心に」(『武庫川女子大学文学部五十周年記念論文集』和泉書院, p.139-150, 1999. 11)
- 金井清敏「白斎と芳蘭と姫山」(『長野』210号, p.39-50, 2000. 3)
- 後町広志「寺子屋手習本考」(『オール諏訪』188号, p.28-30, 2000. 5)
- 林登美人「下伊那の寺子屋Ⅷ・私塾寺子屋師匠の筆塚と頌徳碑」(『伊那』48巻7号, p. 3-15, 2000. 7)
- 林登美人「下伊那の寺子屋Ⅷ・私塾寺子屋師匠の筆塚と頌徳碑(二)」(『伊那』48巻9号, p. 16-25, 2000. 9)
- 西澤敏昭「近世信濃における村落共同体と手習師匠一雇い入れ師匠からみる民衆の教育要請一」(『奈良教育史研究』6号, 奈良教育大学学校教育講座, p.17-100, 2000. 11)
- 稲垣忠彦「近世における寺子屋の形成と授業」(『帝京大学文学部紀要』26号, p.77-103, 2001. 1)